Q.0/535425JC05 Rec'd PCT/PTO 19 MAY 2005

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re the Application of

Inventors:

Toshiyuki UEHARA, et al.

Application No.:

New PCT National Stage Application

Filed:

May 19, 2005

For:

RADIO COMMUNICATION METHOD, RADIO COMMUNICATION

SYSTEM, RADIO BASE STATION APPARATUS, AND

COMMUNICATION TERMINAL APPARATUS

CLAIM FOR PRIORITY

Assistant Commissioner of Patents Washington, D.C. 20231

Dear Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application filed in the following foreign country is hereby requested for the above-identified application and the priority provided in 35 USC 119 is hereby claimed:

Japanese Appln. No. 2003-299122, filed August 22, 2003.

The International Bureau received the priority document within the time limit, as evidenced by the attached copy of the PCT/IB/304.

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the requirements of 35 USC 119 have been fulfilled and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of this document.

Respectfully submitted,

Date: May 19, 2005

James E. Ledbetter

Registration No. 28,732

JEL/spp

Attorney Docket No. <u>L9289.05133</u> STEVENS DAVIS, MILLER & MOSHER, L.L.P. 1615 L STREET, NW, Suite 850 P.O. Box 34387 WASHINGTON, DC 20043-4387

Telephone: (202) 785-0100

From the INTERNATIONAL BUREAU

PCT

NOTIFICATION CONCERNING SUBMISSION OR TRANSMITTAL-

OF PRIORITY DOCUMENT MAY 2 2, 2004

WASHIDA, Kimihito 5th Floor, Shintoshicenter Bldg., 24-1, Tsurumaki 1-chome, Tama-shi,

Tokvo TES 2060034 Ĵapan

(PCT Administrative Instructions, Section 411).

Date of mailing (day/month/year) 09 November 2004 (09.11.2004)

Applicant's or agent's file reference 2F04064-PCT

International application No. PCT/JP2004/011940

International publication date (day/month/year)

Not yet published

Applicant

IMPORTANT NOTIFICATION

International filing date (day/month/year)

13 August 2004 (13.08.2004)

Priority date (day/month/year)

22 August 2003 (22.08.2003)

MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD. et al

- By means of this Form, which replaces any previously issued notification concerning submission or transmittal of priority documents, the applicant is hereby notified of the date of receipt by the International Bureau of the priority document(s) relating to all earlier application(s) whose priority is claimed. Unless otherwise indicated by the letters "NR", in the right-hand column or by an asterisk appearing next to a date of receipt, the priority document concerned was submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b).
- (If applicable) The letters "NR" appearing in the right-hand column denote a priority document which, on the date of mailing of this Form, had not yet been received by the International Bureau under Rule 17.1(a) or (b). Where, under Rule 17.1(a), the priority document must be submitted by the applicant to the receiving Office or the International Bureau, but the applicant fails to submit the priority document within the applicable time limit under that Rule, the attention of the applicant is directed to Rule 17.1(c) which provides that no designated Office may disregard the priority claim concerned before giving the applicant an opportunity, upon entry into the national phase, to furnish the priority document within a time limit which is reasonable under the circumstances.
- (If applicable) An asterisk(*) appearing next to a date of receipt, in the right-hand column, denotes a priority document submitted or transmitted to the International Bureau but not in compliance with Rule 17.1(a) or (b) (the priority document was received after the time limit prescribed in Rule 17.1(a) or the request to prepare and transmit the priority document was submitted to the receiving Office after the applicable time limit under Rule 17.1(b)). Even though the priority document was not furnished in compliance with Rule 17.1(a) or (b), the International Bureau will nevertheless transmit a copy of the document to the designated Offices, for their consideration. In case such a copy is not accepted by the designated Office as priority document, Rule 17.1(c) provides that no designated Office may disregard the priority claim concerned before giving the applicant an opportunity, upon entry into the national phase, to furnish the priority document within a time limit which is reasonable under the circumstances.

Priority date

Priority application No.

Country or regional Office or PCT receiving Office

Date of receipt of priority document

22 Augu 2003 (22.08.2003)

2003-299122

JP

30 Sept 2004 (30.09.2004)

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland

Authorized officer

taieb AKREMI (Fax 338 9090)

Facsimile No. (41-22) 338.90.90 Telephone No. (41-22) 338 9415

日本国特許庁 JAPAN PATENT OFFICE

13.08.2004

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 Date of Application:

2003年 8月22日

出 願 番 号 Application Number:

特願2003-299122

[ST. 10/C]:

[JP2003-299122]

REC'D 30 SEP. 2004

PO___PCT

出 願 / Applicant(s):

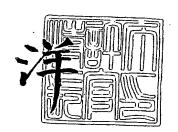
松下電器産業株式会社

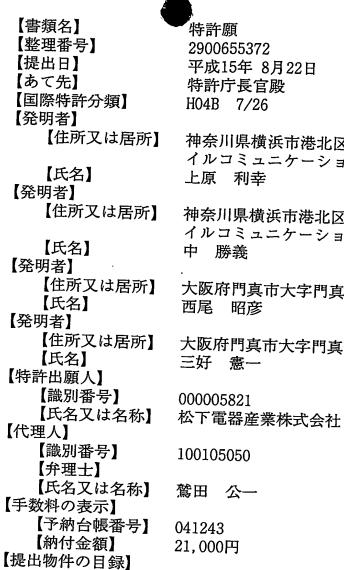
PRIORITY DOCUMENT

SUBMITTED OR TRANSMITTED IN COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

特許庁長官 Commissioner, Japan Patent Office 2004年 9月17日

1) 1





明細書 1

要約書 1

9700376

図面 1

【物件名】

【物件名】

【物件名】

【物件名】

【包括委任状番号】



【請求項1】

通信端末装置が、無線基地局装置からのup/down/keep信号に基づきTFC (Transport Format Combination) ポインタを設定し、このTFCポインタ以下の伝送レ ートを示すTFCに基づき上り送信を行う無線通信方法であって、

通信端末装置から送信されるTFCI(Transport Format Combination Indicator)を 用いて、通信端末装置と無線基地局装置のTFCポインタを合わせる

ことを特徴とする無線通信方法。

【請求項2】

通信端末装置が、TFCを決定するTFC決定ステップと、

通信端末装置が、自局のTFCポインタを前記TFC決定ステップで決定したTFCに 合わせるステップと、

通信端末装置が、決定したTFCを示すTFCIを無線基地局装置に送信するTFCI 送信ステップと、

無線基地局装置が、自局のTFCポインタをTFCIで示されるTFCに更新するTF Cポインタ更新ステップと、

無線基地局装置が、新たなTFCポインタを求め、この新たなTFCポインタと前記更 新したTFCポインタとを比較することにより、通信端末装置のTFCポインタを制御す るためのup/down/keep信号を形成し送信するステップと

を含むことを特徴とする請求項1に記載の無線通信方法。

【請求項3】

通信端末装置が、TFCを決定するTFC決定ステップと、

通信端末装置が、決定したTFCを示すTFCIに加えて、TFCを決定する基となっ た情報を無線基地局装置に送信するTFCI送信ステップと、

無線基地局装置が、前記通信端末装置のTFCとその基となった情報とに基づいて、通 信端末装置のTFCポインタが自局のTFCポインタからずれているか否かを判断するス テップと、

無線基地局装置が、通信端末装置のTFCポインタがずれていると判断した場合、自局 のTFCポインタ情報を通信端末装置に送信するステップと

を含むことを特徴とする請求項1に記載の無線通信方法。

通信端末装置が、TFCを決定するTFC決定ステップと、

通信端末装置が、決定したTFCを示すTFCIに加えて、自局のTFCポインタと前 記決定ステップで決定したTFCとが一致するか否かを示すフラグ信号を無線基地局装置 に送信するステップと、

無線基地局装置が、前記TFCIとフラグ信号とに基づき、通信端末装置のTFCポイ ンタが自局のTFCポインタからずれているか否かを判断するステップと、

無線基地局装置が、通信端末装置のTFCポインタがずれていると判断した場合、自局 のTFCポインタ情報を通信端末装置に送信するステップと

を含むことを特徴とする請求項1に記載の無線通信方法。

【請求項5】

前記無線基地局装置は、前記通信端末装置からのTFCIを受信してから前記通信端末 装置のTFCポインタを制御するための信号を送信するまでの期間は、前記通信端末装置 に対してkeep信号を送信する

ことを特徴とする請求項2から請求項4のいずれかに記載の無線通信方法。

【請求項6】

通信端末装置が、無線基地局装置からのup/down/keep信号に基づいてTF Cポインタを変更し、このTFCポインタ以下の伝送レートを示すTFCを選択し、選択 したTFCに基づき上り送信を行うようになされた無線通信システムであって、

前記通信端末装置は、前記選択したTFCを示すTFCIを前記無線基地局装置に送信

し、

前記無線基地局装置は、前記TFCIで示されるTFCを参照して前記up/down/keep信号やTFCポインタ情報信号等のTFCポインタを変更するための信号を形成し、このTFCポインタを変更するための信号を通信端末装置に送信する

ことを特徴とする無線通信システム。

【請求項7】

通信端末装置から送信されたTFCI(Transport Format Combination Indicator)を抽出するTFCI抽出手段と、

抽出されたTFCIを参照して通信端末装置のTFC (Transport Format Combination) ポインタを変更するためのup/down/keep信号を形成するup/down/keep信号形成手段と、

前記up/down/keep信号を無線送信する送信手段と

を具備することを特徴とする無線基地局装置。

【請求項8】

自局のTFCポインタが前記TFCIで示されるTFCと異なるか否かをチェックし、 自局のTFCポインタが前記TFCIで示されるTFCと異なる場合には、自局のTFC ポインタをTFCIで示されるTFCに更新するTFCIチェック手段と、

この更新したTFCポインタと新たなTFCポインタを比較することにより、前記up/down/keep信号を形成するための制御信号を生成するTFCポインタ決定手段と

を、さらに具備することを特徴とする請求項7に記載の無線基地局装置。

【請求項9】

通信端末装置から送信された、パワーマージン情報及び又はバッファサイズ情報を抽出 するパワーマージン/バッファ情報抽出手段と、

前記TFCIで示されるTFCと、その基となった前記パワーマージン情報及び又はバッファサイズ情報とに基づいて、通信端末装置のTFCポインタが自局のTFCポインタからずれているか否かを判断するTFCIチェック手段と、

自局のTFCポインタが前記TFCIで示されるTFCと異なる場合には、自局のTFCポインタ情報を通信端末装置に送信するTFCポインタ送信手段と

を、さらに具備することを特徴とする請求項7に記載の無線基地局装置。

【請求項10】

通信端末装置から送信された、通信端末装置のTFCポインタと通信端末装置で決定したTFCとが一致するか否かを示すフラグ信号を抽出するポインタフラグ抽出手段と、

前記TFCIとフラグ信号とに基づき、通信端末装置のTFCポインタが自局のTFCポインタからずれているか否かを判断するTFCIチェック手段と、

通信端末装置のTFCポインタがずれていると判断した場合、自局のTFCポインタ情報を通信端末装置に送信するTFCポインタ送信手段と

を、さらに具備することを特徴とする請求項7に記載の無線基地局装置。

【請求項11】

TFCポインタ以下の伝送レートを示すTFCを決定するTFC決定手段と、

TFCポインタを無線基地局装置からのup/down/keep信号に基づいて更新するのに加えて、前記TFC決定手段で決定したTFCに合わせて更新するTFCポインタ制御手段と、

前記TFC決定手段で決定したTFCを示すTFCIを無線基地局装置に送信するTFCI送信手段と

を具備することを特徴とする通信端末装置。

【請求項12】

TFCポインタ以下の伝送レートを示すTFCを決定するTFC決定手段と、

前記TFC決定手段で決定したTFCと自局のTFCポインタが一致するか否かを判断するTFC比較手段と、

ページ: 3/E



を具備することを特徴とする通信端末装置。

【請求項13】

TFCポインタ以下の伝送レートを示すTFCを決定するTFC決定手段と、

前記TFC決定手段で決定したTFCと自局のTFCポインタが一致するか否かを判断するTFC比較手段と、

前記TFC決定手段で決定したTFCを示すTFCIに加えて、決定したTFCと自局のTFCポインタが一致したか否かを示すポインタフラグ信号を無線基地局装置に送信する送信手段と

を具備することを特徴とする通信端末装置。

【書類名】明細書

【発明の名称】無線通信方法、無線通信システム、無線基地局装置及び通信端末装置 【技術分野】

[0001]

本発明は、特にTFC(Transport Format Combination)ポインタを用いて通信端末装 置で送信可能な伝送レートを決定する無線通信方法、無線通信システム、無線基地局装置 及び通信端末装置に関する。

【背景技術】

[0002]

近年、通信端末装置(以下これを場合によって移動局と呼ぶ)から無線基地局装置(以 下これを場合によって基地局と呼ぶ) への上り高速パケット送信を実現するための種々の 技術が提案されている。この上り高速パケット送信において、送信データのスループット を向上させるために重要なのがパケットデータの伝送レート制御である。

[0003]

現在、この伝送レート制御は、物理チャネルのシンボルレート、符号化率、レートマッ チング、およびDTX (Discontinuous Transmission) などのパラメータを制御すること によって行われる。伝送レートの切り替えは、通信の開始時や通信の途中で行うことが可 能であり、上記の各パラメータによって定まる伝送レートごとに複数のチャネルの組み合 わせを定義し、それぞれの組み合わせに番号を付与し、通信中にその番号を切り替えるこ とで実現している。このような複数のパラメータの組み合わせはTFC(Transport Form at Combination) と呼ばれる。

[0004]

このTFCについて簡単に説明する。無線通信システムでは、通信端末装置の総送信電 力が最大送信電力を超えてしまう場合、いずれかのチャネルの送信を停止する、もしくは 、伝送レートを下げる等の制御を行い、総送信電力が最大送信電力を超えないようにする ことが必要となる。W-CDMAの3GPPのRelease99仕様では、これを実現する方法と してTFC Selectionが標準化されている。

[0005]

TFC Selectionでは、通信端末装置が、複数の個別チャネルDCH(Dedicated Chan nel)でデータを多重して伝送する場合に、各DCHで送信するデータ量等を示すトランス ポートフォーマット (Transport Format)の組合せであるTFC毎に総送信電力が最大送 信電力を超えないか否かを判定し、送信可能なTFCを選択する。なお、以下の説明にお いて、全てのTFCの集合をTFCS(Transport Format Combination Set)という。

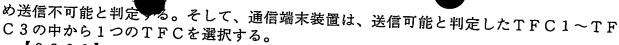
[0006]

以下、TFC Selectionについて図25を用いて具体的に説明する。図25では、DC Hが2つで、DCH#1には3つのトランスポートフォーマットTFがあり、DCH#2 には2つのトランスポートフォーマットTFがある場合を示す(図25(A))。この場 合、図25 (B) に示すように、TFC1~TFC6の6通りのTFCが存在することに なる。なお、図25(A)、(B)では、各トランスポートフォーマットTFのビット数 (伝送レート)を横軸の長さで表している。

[0007]

ここで、単位時間に送信しなければならないビット数が増えるほど伝送レートを速くす る必要があり、所定の品質を得るためには伝送レートが速いほど送信電力を高くしなけれ ばならない。図25(C)はTFC毎の送信電力を示し、送信電力はビット数と比例関係 にあるとしている。なお、図25(C)において、点線は通信端末装置の最大送信電力(すなわちパワーマージン) P maxを示している。 [0008]

図25(C)の場合、通信端末装置は、TFCSにおけるTFC1~TFC3において 総送信電力が最大送信電力Pmaxを下回るので送信可能と判定し、TFCSにおけるTF C4~TFC6において総送信電力が最大送信電力Pmaxを上回り送信電力が足りないた



[0009]

通信端末装置が以上の動作を定期的に行うこと、すなわち、TFCSにおけるTFC毎 に最大送信電力を超えるかどうかを判定することにより、通信端末装置の最大送信電力を 超えないで通信を行うことができる。

[0010]

さらに、無線基地局装置と通信端末装置で共通のTFCポインタを設定し、通信端末装 置がTFCポインタ以下の最大伝送レートで送信を行うようになされた無線通信システム が、非特許文献1に記載されている。この無線通信システムについて簡単に説明する。図 25 (C)のTFCSを送信電力(伝送レート)が大きい順に並べると、図26に示すよ うになる。先ず、無線基地局装置又はRNC(Radio Network Controller)が図26に示 すようなTFCSの情報を設定し、このTFCS情報を無線基地局装置を介して通信端末 装置に送信する。また無線基地局装置は、自局の受信リソース等に基づいて、通信端末装 置が送信可能な最大の伝送レートを示すTFCポインタ(すなわち最大の伝送レートに相 当するTFC番号)を設定し、このTFCポインタを通信端末装置に通知する。通信端末 装置は、通知されたTFCポインタが示す伝送レート以下のTFCのうち、自局のパワー マージンやバッファ情報に基づいて送信可能な最大の伝送レートを示すTFCを決定する 。そして通信端末装置は、決定したTFCに応じた拡散率、変調方式、符号化率あるいは データサイズ等により上り信号を送信する。

[0011]

また無線基地局装置は、TFCポインタを変更する場合には、自局のTFCポインタを 変更することに加えて、通信端末装置にup/down/keep信号を送信することで 、通信端末装置のTFCポインタを自局のTFCポインタに合わせて変更させる。

[0012]

ところで、通常up/down/keep信号は誤り訂正符号化が施されずに送信され るので、通信端末装置で受信エラーが発生すると、通信端末装置のTFCポインタが無線 基地局装置のTFCポインタとずれてしまうことになる。この結果、通信端末装置は、許 可されていない大きい伝送レートで送信を行ったり(通信端末装置のTFCポインタが基 地局TFCポインタよりも大きい方にずれた場合)、もっと大きな伝送レートで送信でき るにも拘わらず小さな伝送レートで送信を行う(通信端末装置のTFCポインタが基地局 TFCポインタよりも小さい方にずれた場合)ことになる。これは、上り信号の品質劣化 や通信容量の低下につながる。

[0013]

この無線基地局装置のTFCポインタと通信端末装置のTFCポインタのずれを補正す る方法として従来、非特許文献2に記載されているものがある。非特許文献2によれば、 例えばup/down/keep信号とは別に、無線基地局装置から通信端末装置に所定 の間隔でTFCポインタを示す実際のTFC番号を送る方法が提案されている。

【非特許文献1】3GPP TR 25.896 V0.3.1 (R1-03063 . 3)

【非特許文献 2】 TSG-RAN Working Group 1 meetin g #32 (R1-030547)

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

[0014]

しかしながら、上記非特許文献 2 に記載された方法を用いた場合、通信端末装置のTF Cポインタを無線基地局装置のTFCポインタに常時合わせようとすると、TFC番号を 送信する間隔を短くする必要があるため、その分だけ通信情報量が増加する問題がある。 またTFC番号を送信する間隔を長くすると、TFCポインタがずれている時間が長くな るおそれがある。



本発明はかかる点に鑑みてなされたものであり、通信端末装置で u p/d o w n/k e e p 信号が誤って受信された場合でも、既存の情報を有効に利用して通信端末装置のTF Cポインタを無線基地局装置のTFCポインタに一致させることができる無線通信方法、 無線通信システム、無線基地局装置及び通信端末装置を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

[0016]

かかる課題を解決するため本発明の無線通信方法は、通信端末装置が、無線基地局装置 からのup/down/keep信号に基づきTFC (Transport Format Combination) ポインタを設定し、このTFCポインタ以下の伝送レートを示すTFCに基づき上り送信 を行う無線通信方法であって、通信端末装置から送信されるTFCI (Transport Format Combination Indicator)を用いて、通信端末装置と無線基地局装置のTFCポインタを 合わせるようにする。

[0017]

この方法によれば、TFCIは通信端末装置から無線基地局装置に送信されるので、通 信端末装置と無線基地局装置の両局は共にTFCIで示されるTFCを認識している。そ してその両局で認識しているTFCを基準に両局のTFCポインタを合わせるようにした ので、通信端末装置でup/down/keep信号が誤って受信され、通信端末装置の TFCポインタと無線基地局装置のTFCポインタとがずれたとしても、両局のTFCポ インタを確実に合わせることができるようになる。また既存のTFCIを用いるようにし たので、通信情報量を増加させずにTFCポインタを合わせることができる。さらにTF CIは、一般に誤り訂正符号化が施されて伝送されるので、 up/down/keep信 号に受信エラーが生じるような電波伝搬環境下でも、誤りなく受信される可能性が高いの で、高い信頼性でTFCポインタを合わせることができるようになる。

[0018]

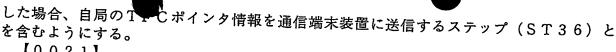
本発明の無線通信方法は、通信端末装置がTFCを決定するTFC決定ステップ(ST 22)と、通信端末装置が自局のTFCポインタをTFC決定ステップ(ST22)で決 定したTFCに合わせるステップ(ST25)と、通信端末装置が決定したTFCを示す TFCIを無線基地局装置に送信するTFCI送信ステップ(ST24)と、無線基地局 装置が自局のTFCポインタをTFCIで示されるTFCに更新するTFCポインタ更新 ステップ(ST14)と、無線基地局装置が新たなTFCポインタを求め、この新たなT FCポインタと前記更新したTFCポインタとを比較することにより、通信端末装置のT FCポインタを制御するためのup/down/keep信号を形成し送信するステップ (ST12、ST15、ST13) とを含むようにする。

[0019]

この方法によれば、通信端末装置でup/down/keep信号が誤って受信され、 通信端末装置のTFCポインタと無線基地局装置のTFCポインタとがずれたとしても、 通信端末装置のTFCポインタと無線基地局装置のTFCポインタをTFCIで示される TFCに合わせるようにしている(ST25、ST14)ので、両局のTFCポインタを 一致させることができる。またup/down/keep信号も、一致させたTFCポイ ンタを基準にして形成するようにしているので、両局のTFCポインタがずれることはな い。たとえこのup/down/keep信号が誤って受信されたとしても、同様の処理 を繰り返すことにより、TFCポインタのずれは補正される。

[0020]

本発明の無線通信方法は、通信端末装置がTFCを決定するTFC決定ステップ(ST 42)と、通信端末装置が決定したTFCを示すTFCIに加えて、TFCを決定する基 となった情報を無線基地局装置に送信するTFCI送信ステップ(ST44、ST45) と、無線基地局装置が通信端末装置のTFCとその基となった情報とに基づいて、通信端 末装置のTFCポインタが自局のTFCポインタからずれているか否かを判断するステッ プ(ST34)と、無線基地局装置が通信端末装置のTFCポインタがずれていると判断



[0021]

この方法によれば、通信端末装置がTFCIに加えて、TFCを決定する基となった情 報を無線基地局装置に送信するので、無線基地局装置は通信端末装置のTFCポインタが 自局のTFCポインタからずれているか否かを判断できる。そして無線基地局装置は、T FCポインタがずれていると判断した場合のみ、TFCポインタ情報を送信するので、実 際上必要なときだけTFCポインタ情報を送信できるようになる。この結果、通信端末装 置でup/down/keep信号が誤って受信され、通信端末装置のTFCポインタと 無線基地局装置のTFCポインタとがずれたとしても、必要最小限の情報追加で両局のT FCポインタを一致させることができる。

[0022]

本発明の無線通信方法は、通信端末装置がTFCを決定するTFC決定ステップ(ST 62) と、通信端末装置が決定したTFCを示すTFCIに加えて、自局のTFCポイン タと決定ステップ(ST62)で決定したTFCが一致するか否かを示すフラグ信号を無 線基地局装置に送信するステップ(ST66)と、無線基地局装置が前記TFCIとフラ グ信号とに基づき、通信端末装置のTFCポインタが自局のTFCポインタからずれてい るか否かを判断するステップ(ST51)と、無線基地局装置が通信端末装置のTFCポ インタがずれていると判断した場合、自局のTFCポインタ情報を通信端末装置に送信す るステップ(ST55)とを含むようにする。

[0023]

この方法によれば、通信端末装置がTFCIに加えて、自局のTFCポインタと決定ス テップ(ST62)で決定したTFCが一致するか否かを示すフラグ信号を無線基地局装 置に送信するので、無線基地局装置は通信端末装置のTFCポインタが自局のTFCポイ ンタからずれているか否かを判断できる。そして無線基地局装置は、TFCポインタがず れていると判断した場合のみ、TFCポインタ情報を送信するので、実際上必要なときだ けTFCポインタ情報を送信できるようになる。この結果、通信端末装置でup/dow n/keep信号が誤って受信され、通信端末装置のTFCポインタと無線基地局装置の TFCポインタとがずれたとしても、必要最小限の情報追加で両局のTFCポインタを一 致させることができる。

[0024]

本発明の無線通信方法は、無線基地局装置は、通信端末装置からのTFCIを受信して から通信端末装置のTFCポインタを制御するための信号を送信するまでの期間は、通信 端末装置に対してkeep信号を送信するようにする。

[0025]

この方法によれば、通信端末装置は、TFCIを送信してからTFCポインタを制御す るための信号を受信するまでの間は、keep信号によりTFCポインタの位置が維持さ れるので、無線基地局装置でTFCポインタを制御するための信号を形成する間に、通信 端末装置のTFCポインタがずれることを防止でき、TFCポインタを制御するための信 号により通信端末装置のTFCポインタを無線基地局装置のTFCポインタに確実に一致 させることができるようになる。

[0026]

本発明の無線通信システムは、通信端末装置が、無線基地局装置からのup/down /keep信号に基づいてTFCポインタを変更し、このTFCポインタ以下の伝送レー トを示すTFCを選択し、選択したTFCに基づき上り送信を行うようになされた無線通 信システムであって、前記通信端末装置は、前記選択したTFCを示すTFCIを前記無 線基地局装置に送信し、前記無線基地局装置は、前記TFCIで示されるTFCを参照し て前記up/down/keep信号やTFCポインタ情報信号等のTFCポインタを変 更するための信号を形成し、このTFCポインタを変更するための信号を通信端末装置に 送信する構成を採る。



本発明の無線基地局装置は、通信端末装置から送信されたTFCI (Transport Format Combination Indicator)を抽出するTFCI抽出手段と、抽出されたTFCIを参照し て通信端末装置のTFC(Transport Format Combination)ポインタを変更するためのu p/down/keep信号を形成するup/down/keep信号形成手段と、前記 u p/d o w n/k e e p信号を無線送信する送信手段とを具備する構成を採る。

[0028]

これらの構成によれば、無線基地局装置がTFCIで示されるTFCを参照してup/ down/keep信号を形成して通信端末装置に送信するので、通信端末装置でup/ down/keep信号が誤って受信され、通信端末装置のTFCポインタと無線基地局 装置のTFCポインタとがずれたとしても、両局のTFCポインタを合わせることができ るようになる。また既存のTFCIを用いるようにしたので、通信情報量を増加させずに TFCポインタを合わせることができる。さらにTFCIは、一般に誤り訂正符号化が施 されて伝送されるので、up/down/keep信号に受信エラーが生じるような電波 伝搬環境下でも、誤りなく受信される可能性が高いので、高い信頼性でTFCポインタを 合わせることができるようになる。

[0029]

本発明の無線基地局装置は、自局のTFCポインタが前記TFCIで示されるTFCと 異なるか否かをチェックし、自局のTFCポインタが前記TFCIで示されるTFCと異 なる場合には、自局のTFCポインタをTFCIで示されるTFCに更新するTFCIチ エック手段と、この更新したTFCポインタと新たなTFCポインタを比較することによ り、前記up/down/keep信号を形成するための制御信号を生成するTFCポイ ンタ決定手段とを、さらに具備する構成を採る。

[0030]

本発明の無線基地局装置は、通信端末装置から送信された、パワーマージン情報及び又 はバッファサイズ情報を抽出するパワーマージン/バッファ情報抽出手段と、前記TFC I で示されるTFCと、その基となった前記パワーマージン情報及び又はバッファサイズ 情報とに基づいて、通信端末装置のTFCポインタが自局のTFCポインタからずれてい るか否かを判断するTFCIチェック手段と、自局のTFCポインタが前記TFCIで示 されるTFCと異なる場合には、自局のTFCポインタ情報を通信端末装置に送信するT FCポインタ送信手段とを、さらに具備する構成を採る。

[0031]

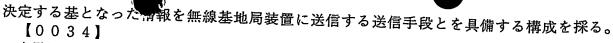
本発明の無線基地局装置は、通信端末装置から送信された、通信端末装置のTFCポイ ンタと通信端末装置で決定したTFCとが一致するか否かを示すフラグ信号を抽出するポ インタフラグ抽出手段と、前記TFCIとフラグ信号とに基づき、通信端末装置のTFC ポインタが自局のTFCポインタからずれているか否かを判断するTFCIチェック手段 と、通信端末装置のTFCポインタがずれていると判断した場合、自局のTFCポインタ 情報を通信端末装置に送信するTFCポインタ送信手段とを、さらに具備する構成を採る

[0032]

本発明の通信端末装置は、TFCポインタ以下の伝送レートを示すTFCを決定するT F C 決定手段と、T F C ポインタを無線基地局装置からの u p / d o w n / k e e p 信号 に基づいて更新するのに加えて、前記TFC決定手段で決定したTFCに合わせて更新す るTFCポインタ制御手段と、前記TFC決定手段で決定したTFCを示すTFCIを無 線基地局装置に送信するTFCI送信手段とを具備する構成を採る。

[0033]

本発明の通信端末装置は、TFCポインタ以下の伝送レートを示すTFCを決定するT FC決定手段と、前記TFC決定手段で決定したTFCと自局のTFCポインタが一致す るか否かを判断するTFC比較手段と、決定したTFCと自局のTFCポインタが一致し なかった場合、前記TFC決定手段で決定したTFCを示すTFCIに加えて、TFCを



本発明の通信端末装置は、TFCポインタ以下の伝送レートを示すTFCを決定するT FC決定手段と、前記TFC決定手段で決定したTFCと自局のTFCポインタが一致す るか否かを判断するTFC比較手段と、前記TFC決定手段で決定したTFCを示すTF CIに加えて、決定したTFCと自局のTFCポインタが一致したか否かを示すポインタ フラグ信号を無線基地局装置に送信する送信手段とを具備する構成を採る。 【発明の効果】

[0035]

このように本発明によれば、通信端末装置から送信されるTFCIを用いて、通信端末 装置と無線基地局装置のTFCポインタを合わせるようにしたことにより、通信端末装置 でup/down/keep信号が誤って受信された場合でも、既存の情報を有効に利用 して通信端末装置のTFCポインタを無線基地局装置のTFCポインタに一致させること ができる。

【発明を実施するための最良の形態】

[0036]

本発明の骨子は、通信端末装置から送信されるTFCIを有効に活用して、通信端末装 置と無線基地局装置のTFCポインタを合わせることである。

[0037]

以下、本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

[0038]

(実施の形態1)

図1に本発明の実施の形態1に係る無線基地局装置の構成を示す。無線基地局装置10 0は、チャネルコーディング部101に、各通信端末宛の送信データと、up/down /keepシグナリング生成部102により生成された各通信端末宛のup/down/ k e e p信号S 1を入力する。チャネルコーディング部101は、送信データに誤り訂正 符号化処理やインターリーブ処理を施し、処理後のデータを変調部103に送出する。因 みに、up/down/keep信号については、符号化せずにそのまま出力する。

[0039]

変調部103は、チャネルコーディングデータをQPSK(Quadrature Phase Shift Ke ying)や16QAM(Quadrature Amplitude Modulation)等の変調方式により変調し、変調 「シンボルを拡散部104に送出する。拡散部104は各通信端末に割り当てた拡散コード を用いて各通信端末宛の信号を拡散処理し、処理後の信号を送信無線部105に送出する 。送信無線部105は、ディジタルアナログ変換処理やアップコンバート等の所定の無線 処理を行い、無線処理後の信号をアンテナ106に供給する。

[0040]

受信無線部107は、アンテナ106により受信した信号に対して、ダウンコンバート やアナログディジタル変換処理等の所定の無線処理を施し、無線処理後の信号を逆拡散部 108に送出する。逆拡散部108は、各通信端末に割り当てた拡散コードを用いて逆拡 散処理を行うことにより、各通信端末からの信号を得る。各通信端末からの信号は復調部 109により復調された後、チャネルデコーディング部110に送出される。チャネルデ コーディング部110は、復調信号に対してデインターリープ処理や誤り訂正復号処理を 施すことにより、各通信端末からの受信データを得る。

[0041]

加えて、チャネルデコーディング部110の出力はTFCI(Transport Format Combi nation Indicator) 抽出部111に送出される。またチャネルデコーディング部110の 出力は、パワーマージン/バッファ情報抽出部112に送出される。TFCI抽出部11 1は、受信信号の所定位置に埋め込まれているTFCI情報S2を抽出する。パワーマー ジン/バッファ情報抽出部112は、受信信号の所定位置に埋め込まれているパワーマー ジン情報及びバッファ情報(以下これをパワーマージン/バッファ情報と呼ぶ)S3を抽

出する。

[0042]

TFCI抽出部111は、各通信端末から送られてきたTFCI情報に基づいて、各通 信端末により送信された、あるいはこれから送られるデータがどのように送信されてくる かを逆拡散部108、復調部109、チャネルデコーディング部110に通知する。すな わち、TFCI情報に基づき、拡散率、変調方式、符号化率あるいはデータサイズなどを それぞれ必要な回路に通知する。またTFCI抽出部111は、抽出したTFCI情報S 2をTFCポインタ制御部113に送出する。

[0043]

TFCポインタ制御部113は、TFCI抽出部111からのTFCI情報S2とパワ ーマージン/バッファ情報抽出部112からのパワーマージン/バッファ情報S3とを用 いて、通信端末装置のTFCポインタを上下させるためのTFCポインタ制御信号S4を 形成し、これをup/down/keepシグナリング生成部102に送出する。up/ down/keepシグナリング生成部102は、TFCポインタ制御信号S4に基づい ・て、TFCポインタを上げる、下げる又は維持することを指示するup/down/ke ep信号S1を生成する。

[0044]

図2に、本実施の形態のTFCポインタ制御部113の構成を示す。TFCポインタ制 御部113は、TFCIチェック部120にTFCI抽出部111により抽出されたTF CI情報S2を入力する。TFCIチェック部120は、TFCI情報S2と、TFCポ インタ記憶部121に記憶されているTFCポインタとを比較することにより、記憶され ているTFCポインタがTFCIで示されるTFCと異なるか否かをチェックする。TF CIチェック部120は、記憶されているTFCポインタがTFCIで示されるTFCと 異なる場合には、記憶されているTFCポインタをTFCIで示されるTFCに更新し、 同じ場合には、更新しない。

[0045]

TFCポインタ決定部122は、パワーマージン/バッファ情報抽出部112からのパ ワーマージン/バッファ情報S3と自局での受信における空きリソースを考慮してTFC ポインタを決定する。またTFCポインタ決定部122は、新たに決定したTFCポイン タと、TFCポインタ記憶部121に記憶されているTFCポインタとを比較することに より、TFCポインタ制御信号S4を形成し、これをup/down/keepシグナリ ング生成部102に送出する。またTFCポインタ決定部122は、TFCポインタを更 新した場合には、新たなTFCポインタをTFCポインタ記憶部121に記憶させる。

[0046]

このように本実施の形態の無線基地局装置100においては、自局のTFCポインタが TFCIで示されるTFCと異なるか否かをチェックし、自局のTFCポインタがTFC Iで示されるTFCと異なる場合には、自局のTFCポインタをTFCIで示されるTF Cに更新するTFCIチェック部120と、この更新したTFCポインタと新たなTFC ポインタを比較することにより、 u p/d o w n/k e e p 信号を形成するための制御信 号を生成するTFCポインタ決定部122とを設けたことにより、 up/down/ke e p信号の伝送エラーにより通信端末装置と無線基地局装置のTFCポインタにずれが生 じた場合でも、無線基地局装置のTFCポインタと通信端末装置のTFCポインタを一致 させることができるようになる。

[0047]

図3に、図1の無線基地局装置100と通信を行う通信端末装置の構成を示す。通信端 末装置200は、アンテナ201からの受信信号を受信無線部202に入力する。受信無 線部202は受信信号に対してダウンコンバートやアナログディジタル変換処理等の所定 の無線処理を施す。無線処理後の信号は、逆拡散部203で逆拡散され、復調部204で 復調され、チャネルデコーディング部205でチャネルデコーディング処理され、これに よりチャネルデコーディング部205から受信データが得られる。

[0048]

また通信端末装置200は、送信データをバッファ206を介してチャネルコーディン グ部207に入力し、チャネルコーディング部207により誤り訂正符号化処理やインタ ーリーブ処理を施す。チャネルコーディング部207の出力は、変調部208により変調 され、拡散部209により拡散され、送信無線部210により所定の無線処理が施された 後、アンテナ201から送信される。

[0049]

かかる構成に加えて、チャネルデコーディング部205の出力はup/down/ke e p シグナリング抽出部211に送出される。 u p / d o w n / k e e p シグナリング抽 出部211は受信データの所定位置に埋め込まれたup/down/keep信号S10 を抽出し、当該up/down/keep信号S10をTFCポインタ制御部212に送 出する。

[0050]

TFCポインタ制御部212は、up信号が入力された場合にはTFCポインタを上げ (すなわちTFCポインタを伝送レートの大きいTFCに変更し)、down信号が入力 された場合にはTFCポインタを下げ(すなわちTFCポインタを伝送レートの小さいT FCに変更し)、何も入力されなかった場合にはTFCポインタを維持する。

[0051]

TFC決定部213は、TFCポインタ制御部212からTFCポインタ情報S11を 入力すると共にバッファ206から現在のバッファに蓄積されたデータ量を入力し、さら に送信無線部210から送信パワーマージン情報を入力する。そしてTFC決定部213 は、現在のバッファ206のデータ量やパワーマージンの状況に基づき、TFCポインタ で示される伝送レート以下のTFCを決定する。TFC決定部213は、決定したTFC に応じた、データサイズ、符号化率、変調方式、拡散率、送信電力を、それぞれバッファ 206、チャネルコーディング部207、変調部208、拡散部209、送信無線部21 0に送出する。

[0052]

またTFC決定部213は、決定したTFCを示すTFCI情報S13をチャネルコー ディング部207に送出する。チャネルコーディング部207はこのTFCIに対して誤 り訂正符号化処理を施して出力する。これにより、誤り訂正符号化処理されたTFCIが 無線基地局装置100に送信される。

[0053]

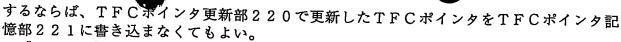
これに加えて、TFC決定部213は、決定したTFC情報S12をTFCポインタ制 御部212に送出する。TFCポインタ制御部212は、TFC決定部213によって決 定されたTFCにTFCポインタを合わせる。

[0054]

ここでTFCポインタ制御部212は、図4に示すように構成されている。TFCポイ ンタ制御部212はTFCポインタ更新部220とTFCポインタ記憶部221を有し、 up/down/keep信号S10をTFCポインタ更新部220に入力する。TFC ポインタ更新部220は、TFCポインタ記憶部221に記憶されているTFCポインタ を読み出し、これをup/down/keep信号S10に応じたTFCポインタに更新 し、更新後のTFCポインタをTFCポインタ記憶部221に書き込む。またTFCポイ ンタ更新部220は、更新後のTFCポインタ情報S11をTFC決定部213に送出す る。

[0055]

またTFCポインタ記憶部221に記憶されたTFCポインタはTFC決定部213に よって決定されたTFCに書き換えられる。因みに、TFC決定部213から入力される TFC情報S12がTFCポインタ記憶部221に記憶されているTFCポインタと同じ であればTFCポインタ記憶部221へのTFC決定部213からの入力及び変更は無く てよい。また必ずTFC決定部213からのTFC情報S12でTFCポインタを初期化



[0056]

このように本実施の形態の通信端末装置200においては、TFCポインタ以下の伝送 レートを示すTFCを決定するTFC決定部213と、TFCポインタを無線基地局装置 からのup/down/keep信号S10に基づいて更新するのに加えて、TFC決定 部213で決定したTFCに合わせて更新するTFCポインタ制御部212と、TFC決 定部213で決定したTFCを示すTFCI情報S13を無線基地局装置に送信するTF CI送信部とを有する。

[0057]

次にこの実施の形態の無線基地局装置100及び通信端末装置200によるTFCポイ ンタの調整動作について説明する。図5に、無線基地局装置100での調整動作を示す。 無線基地局装置100は、ステップST10で調整動作を開始すると、ステップST11 でTFCIチェック部120において、通信端末装置(移動局)200から送られてきた TFCIで示されたTFCと自局で保持しているTFCポインタのTFCが異なるか否か 判断する。

[0058]

ステップST11で否定結果が得られた場合、すなわち自局のTFCポインタと通信端 末装置200で用いられたTFCが同じ場合には、ステップST12に移り、TFCポイ ンタ決定部122において、自局で保持している前回のTFCポインタから新たなTFC ポインタを決定する。そして続くステップST13に進んで、TFCポインタ決定部12 2において、新たなTFCポインタが前回のTFCポインタに対して大きいか小さいかを 比較し、この比較結果に基づくup/down/keep信号を生成して、up/dow n/keep信号を送信する。

[0059]

これに対してステップST11で肯定結果が得られた場合、すなわち自局のTFCポイ ンタと通信端末装置200で用いられたTFCが異なる場合には、ステップST14に移 り、TFCポインタ記憶部121に記憶されていたTFCポインタをTFCIで示される TFCに変更する。これにより、無線基地局装置100のTFCポインタと通信端末装置 200のTFCポインタが同じものに補正される。続くステップST15では、TFCポ インタ決定部122において、補正されたTFCポインタから新たなTFCポインタを決 定する。そして続くステップST13に進んで、TFCポインタ決定部122において、 新たなTFCポインタが補正されたTFCポインタに対して大きいか小さいかを比較し、 この比較結果に基づくup/down/keep信号を生成して、up/down/ke e p信号を送信する。

[0060]

そして無線基地局装置100は、ステップST13の処理の後、ステップST16に進 んでTFCポインタ調整動作を終了する。かくして、無線基地局装置100は、このTF Cポインタ調整動作を行うことにより、通信端末装置200のTFCポインタと同じTF Cポインタを保持できるようになる。

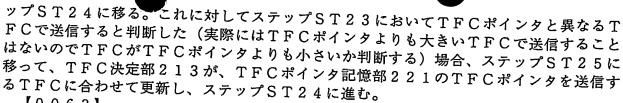
[0061]

図6に、通信端末装置200でのTFCポインタ調整動作を示す。通信端末装置200 は、ステップST20で調整動作を開始すると、ステップST21でTFCポインタ制御 部212が無線基地局装置100から送られてきたup/down/keep信号に従っ てTFCポインタを更新し、ステップST22に進む。ステップST22では、TFC決 定部213がTFCポインタ以下のTFCを決定し、ステップST23に進む。

[0062]

ステップST23では、TFCポインタで示されたTFCと同じTFCで送信するか否 か、すなわちステップST21で更新されたTFCポインタとステップST22で決定さ れたTFCが同じか否か判断し、TFCポインタと同じTFCで送信する場合には、ステ

ページ: 10/



[0063]

ステップST24ではTFCIを無線基地局装置100に送信し、続くステップST2 6でTFCポインタ調整動作を終了する。かくして通信端末装置200は、TFCポイン タを実際に用いたTFCに変更するようになっている。これにより、無線基地局装置 1 0 0に送信されるTFCIは、通信端末装置200のTFCポインタを表すものとなる。

[0064]

図7に、本実施の形態による無線基地局装置(基地局)100と通信端末装置(移動局) 200のTFCポインタの調整の様子を示す。先ず図7のような送受信を開始する前に 、基地局は移動局にTFCポインタを示すTFC番号を通知し、両局のTPCポインタが 一致しているものとする。基地局は、時点t1の前に新たなTFCポインタを決定し、前 回のTFCポインタと新たなTFCポインタとの関係に基づくup/down/keep 信号(up/down/keepシグナリング)を時点t1に送信する。

[0065]

このup/down/keep信号は、時点t2で移動局によって受信されるが、この とき受信エラーが発生すると、移動局はTFCポインタを基地局が意図していたものと異 なるものに更新する。従って、移動局は、誤ったTFCポインタを基準にしてTFCを決 定することになる。そこで、移動局は、決定したTFCに合わせてTFCポインタを変更 する。そして時点 t 3 でTFCIを送信する。これにより、移動局のTFCポインタはT FCIで示されるTFCと同じになる。

[0066]

TFCIは、時点t4で基地局によって受信される。基地局は、受信したTFCIをチ エックし、TFCIで示されるTFCに自局のTFCポインタを合わせるように更新する 。これにより、移動局のTFCポインタと基地局のTFCポインタを同じにすることがで きる。基地局は、次に新たなTFCポインタを決定し、この新たなTFCポインタと、更 新したTFCポインタとを比較することにより、up/down/keep信号を生成し 、時点t5でこのup/down/keep信号を送信する。

[0067]

up/down/keep信号は、時点t6で移動局によって受信される。移動局は、 u p/d o w n/k e e p信号に基づいて、保持していたTFCポインタを更新する。

[0068]

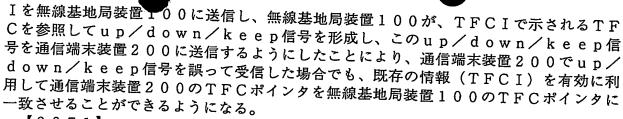
このように、移動局がup/down/keep信号を誤って受信しても、基地局のT FCポインタを移動局が用いた誤ったTFCポインタに合わせて更新し、以降この誤った TFCポインタを上下どちらに移動させるかを示すup/down/keep信号を生成 するので、移動局のTFCポインタを基地局の意図したものに合わせていくことができる ようになる。

[0069]

図8に、この実施の形態の比較例として、従来の一般的なTFCポインタ調整処理を例 に挙げる。図8の場合には、時点t2でup/down/keep信号の受信エラーが発 生すると、以降この移動局はこの誤ったTFCポインタを基準としてTFCを決定し続け る。また基地局は、移動局のTFCポインタとずれたTFCポインタを基準としてup/ down/keep信号を移動局に送り続けることになる。つまり基地局と移動局のTF Cポインタのずれは維持され続けることになる。この結果、移動局では、基地局の意図し ている伝送レートとは異なる伝送レートで送信が行われる可能性がある。

[0070]

かくして本実施の形態によれば、通信端末装置200が、選択したTFCを示すTFC 出証特2004-3084220



[0071]

この結果、無線基地局装置100の意図した伝送レートで上り送信を行わせることがで きるようになる。またTFCIは、一般に誤り訂正符号化処理が施されて送信されるので 、たとえup/down/keep信号が誤るような伝搬路環境下でも、確実に両局のT FCポインタを合わせることができるようになる。

[0072]

(実施の形態2)

この実施の形態の特徴は、通信端末装置がTFCポインタと異なるTFCを選択したと き(実際にはTFCポインタよりも小さいTFCを選択したとき)にパワーマージン、バ ッファサイズといったTFCを選択する基となった情報をTFCIと共に無線基地局装置 に送信し、無線基地局装置がこれらの情報に基づいて通信端末装置のTFCポインタが自 局のTFCポインタと一致しているのかを判断し、異なる場合にのみTFCポインタ番号 を通信端末装置に送信することである。

[0073]

図1との対応部分に同一符号を付して示す図9に、この実施の形態の無線基地局装置の 構成を示す。無線基地局装置300は、TFCポインタ信号生成部301を有することと 、TFCポインタ制御部302の構成が異なることを除いて、図1の無線基地局装置10 0と同様の構成でなる。

[0074]

図10に、TFCポインタ制御部302の構成を示す。TFCポインタ制御部302の TFCIチェック部310は、TFCI抽出部111により抽出されたTFCIで示され るTFCと、TFCポインタ記憶部311に記憶されている自局のTFCポインタのTF Cが異なるか否か判断する。またTFCIチェック部310は、これらのTFCが異なる 場合には、通信端末装置から送られてきたパワーマージン/バッファ情報S3を参照して TFCIが示すTFCが誤ったTFCポインタを基準に生成されたものかどうかチェッ クする。つまり、通信端末装置のTFCポインタが誤ったものか否か判断する。そして判 断結果S20をTFCポインタ決定部312に送出する。

[0075]

TFCポインタ決定部312は、TFCポインタが誤っていないことを示す判断結果S 20が入力された場合には、TFCポインタ記憶部311に記憶されているTFCポイン タと、パワーマージン/バッファ情報S3と、自局での受信における空きリソースとから 、TFCポインタを上げるか下げるか又は維持するかを決定し、up/down/kee pシグナリング生成部102にTFCポインタ制御信号S4を送出する。またTFCポイ ンタを上下させた場合には、上下させた新たなTFCポインタをTFCポインタ記憶部3 11に記憶させる。

[0076]

これに対して、TFCポインタ決定部312は、通信端末装置のTFCポインタが誤っ ていることを示す判断結果S20が入力された場合には、パワーマージン/バッファ情報 S3と、自局での受信における空きリソースとから、新たなTFCポインタを決定し、こ のTFCポインタ情報S21をTFCポインタ信号生成部301に送出すると共にTFC ポインタ記憶部311に記憶させる。TFCポインタ信号生成部301は、TFCポイン タ情報S21に基づくTFCポインタ信号S22を生成し、これをチャネルコーディング 部101に送出する。これにより、TFCポインタ信号S22がチャネルコーディング部 101によって誤り訂正符号化処理され、通信端末装置に送信される。

[0077]

図3との対応部分に同一符号を付して示す図11に、無線基地局装置300と通信を行 う本実施の形態の通信端末装置の構成を示す。通信端末装置400は、TFCポインタ抽 出部401を有することと、TFCポインタ制御部402及びTFC決定部403の構成 が異なることを除いて、図3の通信端末装置200と同様の構成でなる。TFCポインタ 抽出部401は、チャネルデコーディング処理されたデータからTFCポインタ情報S3 0を抽出してTFCポインタ制御部402に送出する。

[0078]

TFCポインタ制御部402は、図12に示すように構成されている。TFCポインタ 制御部402はTFCポインタ更新部410とTFCポインタ記憶部411を有する。T FCポインタ更新部410は、TFCポインタ記憶部411に記憶されているTFCポイ ンタを読み出し、これをup/down/keep信号に応じたTFCポインタに変更し 、変更したTFCポインタ情報S11をTFC決定部403に送出すると共にTFCポイ ンタ記憶部411に書き込む。加えて、TFCポインタ更新部410は、TFCポインタ 抽出部401からのTFCポインタ情報S30を入力した場合には、TFCポインタ記憶 部411のTFCポインタをそのTFCポインタ情報S30に書き換えると共にそのTF Cポインタ情報S30をTFCポインタ情報S11としてTFC決定部403に送出する

[0079]

ここでTFCポインタ情報S30が抽出される場合とは、無線基地局装置300で通信 端末装置400のTFCポインタが誤っていると判断された場合であり、このような場合 のみTFCポインタ記憶部411に記憶されるTFCポインタが強制的にTFCポインタ 情報S30に合わせられる。これにより、通信端末装置400のTFCポインタを無線基 地局装置300のTFCポインタに一致させることができる。

[080]

図13に、TFC決定部403の構成を示す。TFC決定部403はTFC選択部42 0にTFCポインタ制御部402からのTFCポインタ情報S11を入力する。TFC選 択部420は、現在のバッファ206のデータ量や送信無線部210でのパワーマージン の状況に基づき、TFCポインタで示される伝送レート以下のTFCを選択する。そして TFC選択部420は、選択したTFCに応じた、データサイズ、符号化率、変調方式、 拡散率、送信電力を、それぞれバッファ、チャネルコーディング部、変調部、拡散部、送

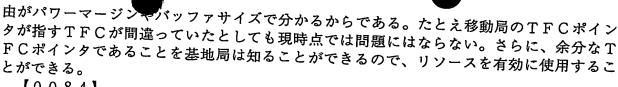
[0081]

加えて、TFC選択部420は選択したTFCをTFC比較部421に送出する。TF C比較部421は、TFC選択部420からのTFCとTFCポインタ制御部402から のTFCポインタ情報S11とを比較し、これらが異なった場合にのみ、パワーマージン */*バッファ情報生成部214にパワーマージン/バッファ情報を生成する指示を与える。

ここで図14及び図15を用いて、無線基地局装置300のTFCIチェック部310 (図10)でのチェック方法についてさらに具体的に説明する。図14は、上述したよう に通信端末装置(移動局) 4 0 0 がパワーマージン/バッファサイズ情報を、選択した T FCがTFCポインタ未満のときだけ送る場合のTFCIチェック部310でのチェック 方法を示す。ここでは図14(A)~図14(D)に示すように、4つのケースを想定す

[0083]

図14(A)で示すケース1は、移動局のTFCポインタが指すTFCが基地局のTF Cポインタが指すTFCと同じかそれ以下であり、かつ移動局が選択したTFCが移動局 のTFCポインタが指すTFCよりも小さい場合を想定したものである。この場合、基地 局はTFCポインタを送信しない。これは、基地局が示したTFCポインタ以下のTFC を移動局が使用していて (TFCIから分かる) 、現在の伝送レートで送ってきている理



[0084]

図14 (B) で示すケース2は、移動局のTFCポインタが指すTFCが基地局のTF Cポインタが指すTFCと同じかそれ以上であり、かつ移動局が選択したTFCが基地局 のTFCポインタが指すTFCと同じ場合を想定したものである。この場合、移動局のT FCポインタが指すTFC(図中*1)が基地局のTFCポインタが指すTFCと同じと きには、基地局はTFCポインタを送信しない。これは、パワーマージンやバッファサイ ズ情報が送られてきていないので、正しいTFCポインタであることが分かるからである 。一方、移動局のTFCポインタが指すTFC(図中*2)が基地局のTFCポインタが 指すTFCよりも大きいときには、基地局はTFCポインタを送信する。因みに、移動局 のTFCポインタが指すTFC(図中*2)が基地局のTFCポインタが指すTFCより も大きいことは、パワーマージンやバッファサイズ情報が送られてきているので分かる。

[0085]

図14(C)で示すケース3は、移動局の選択したTFC(TFCIから分かる)が基 地局のTFCポインタが指すTFCよりも大きい場合を想定したものである。この場合、 移動局のTFCポインタが指すTFCが基地局のTFCポインタが指すTFCよりも大き いことは明らかであり、この状態で移動局が送信を続けるとまずいので、基地局はTFC ポインタを送信する。

[0086]

図14(D)で示すケース4は、移動局の選択したTFC(TFCIから分かる)が基 地局のTFCポインタが指すTFCよりも小さく、かつ移動局が自局のTFCポインタが 指すTFCと同じTFCを選択した(これはパワーマージンやバッファサイズ情報が送ら れてこないことから分かる)場合を想定したものである。この場合、移動局のTFCポイ ンタが誤りであることが分かるので、基地局はTFCポインタを送信する。

[0087]

図15は、移動局がパワーマージン/バッファサイズ情報を、選択したTFCがTFC ポインタ未満のときは必ず送り、かつそれ以外にも送信する時間がある場合のTFCIチ ェック部310でのチェック方法を示す。ここでは図15(A)~図15(D)に示すよ うに、4つのケースを想定する。

[0088]

図15(A)で示すケース1は、移動局のTFCポインタが指すTFCが基地局のTF Cポインタが指すTFCと同じかそれ以下であり、かつ移動局が選択したTFCが移動局 のTFCポインタが指すTFCよりも小さい場合を想定したものである。この場合、基地 局はTFCポインタを送信しない。これは、基地局が示したTFCポインタ以下のTFC を移動局が使用していて (TFCIから分かる) 、現在の伝送レートで送ってきている理 由がパワーマージンやバッファサイズで分かるからである。たとえ移動局のTFCポイン タが指すTFCが間違っていたとしても現時点では問題にはならない。さらに、余分なT FCポインタであることを基地局は知ることができるので、リソースを有効に使用するこ [0089]

図15(B)で示すケース2は、移動局のTFCポインタが指すTFCが基地局のTF Cポインタが指すTFCと同じかそれ以上であり、かつ移動局が選択したTFCが基地局 のTFCポインタが指すTFCと同じ場合を想定したものである。この場合、基地局はT FCポインタを送信しない。これは、基地局が示したTFCポインタと同じTFCを移動 局が使用していて(TFCIから分かる)、移動局のTFCポインタが指すTFCが間違 っていたとしても現時点では問題にはならないし、また基地局は知ることができない(た またま、パワーマージンやバッファサイズが送られてきているかもしれないため)。

[0090]

図15(C)で示すケース3は、移動局の選択したTFC(TFCIから分かる)が基 地局のTFCポインタが指すTFCよりも大きい場合を想定したものである。この場合、 移動局のTFCポインタが指すTFCが基地局のTFCポインタが指すTFCよりも大き いことは明らかであり、この状態で移動局が送信を続けるとまずいので、基地局はTFC ポインタを送信する。

[0091]

図15(D)で示すケース4は、移動局の選択したTFC(TFCIから分かる)が基 地局のTFCポインタが指すTFCよりも小さく、かつ移動局が自局のTFCポインタが 指すTFCと同じTFCを選択した(これはパワーマージンやバッファサイズ情報が送ら れてこないことから分かる)場合を想定したものである。この場合、パワーマージン/バ ッファ情報が送られてこないときは、移動局のTFCポインタは選択したTFCと同じで あり、間違っていると分かるので、基地局はTFCポインタを送信する。一方、パワーマ ージン/バッファ情報がたまたま送られてきており、選択している伝送レート以上の伝送 レートで送れるにもかかわらず低い伝送レートで送っていると分かれば、移動局のTFC ポインタが間違っていると分かるので、基地局はTFCポインタを送信する。またパワー マージン/バッファ情報がたまたま送られてきており、選択している伝送レートが送信可 能な最大伝送レートだと分かったとき、基地局では、移動局のTFCポインタが誤ってい ることは分からないので、基地局はTFCポインタを送信しない。この場合は基地局のT FCポインタより小さいTFCが選択されており、それがその移動局にとって送信可能な 最大伝送レートであるので、問題にならない。

[0092]

次にこの実施の形態の無線基地局装置300及び通信端末装置400によるTFCポイ ンタの調整動作について説明する。図16に、無線基地局装置300での調整動作を示す 。無線基地局装置300は、ステップST30で調整動作を開始すると、ステップST3 1でTFCIチェック部310において、通信端末装置(移動局)400から送られてき たTFCIで示されたTFCと自局で保持しているTFCポインタのTFCが異なるか否 か判断する。

[0093]

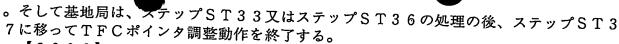
ステップST31で否定結果が得られた場合、すなわち自局のTFCポインタと移動局 で用いられたTFCが同じ場合には、ステップST32に移り、TFCポインタ決定部3 12において、自局で保持している前回のTFCポインタから新たなTFCポインタを決 定する。そして続くステップST33に進んで、TFCポインタ決定部312において、 新たなTFCポインタが前回のTFCポインタに対して大きいか小さいかを比較し、この 比較結果に基づくup/down/keep信号を生成して、up/down/keep 信号を送信する。

[0094]

これに対してステップST31で肯定結果が得られた場合、すなわち自局のTFCポイ ンタと移動局で用いられたTFCが異なる場合には、ステップST34に移る。ステップ ST34では、TFCIチェック部310が移動局から送られてきたパワーマージン/バ ッファ情報S3を参照して、TFCI情報S2が示すTFCが誤ったTFCポインタを基 準に生成されたものかどうかチェックする。つまり、移動局のTFCポインタが誤ったも のか否か判断する。因みに、図14、図15を用いて説明したように基地局では自局のT FCポインタと移動局で用いられたTFCが異なるか判断できないが問題とならない場合 には誤っていないと判断する。そして誤っていないと判断した場合にはステップST32 に移り、誤っていると判断した場合にはステップST35に移る。

[0095]

基地局はステップST35に移ると、TFCポインタ決定部312において、パワーマ ージン/バッファ情報S3と、自局での受信における空きリソースとから、新たなTFC ポインタを決定し、続くステップST36でこのTFCポインタ情報を移動局に送信する



[0096]

図17を用いて、通信端末装置400におけるTFCI及びパワーマージン/バッファ サイズ情報の送信処理について説明する。通信端末装置400は、ステップST40で処 理を開始すると、ステップST41でTFCポインタ制御部402が無線基地局装置30 0から送られてきたup/down/keep信号に従ってTFCポインタを更新し、ス テップST42に進む。ステップST42では、TFC決定部403がTFCポインタ以 下のTFCを決定し、ステップST43に進む。

[0097]

ステップST43では、TFC比較部421において、TFCポインタで示されたTF Cと同じTFCが決定されたか否か判断し、TFCポインタと同じTFCである場合には 、ステップST44に移る。ステップST44では、自局で用いたTFCを示すTFCI 情報を送信する。

[0098]

これに対して、ステップST43で否定結果を得ると、ステップST45に移ってパワ ーマージン/バッファサイズ情報を送信し、ステップST44でTFCIを送信する。な お図17では、ステップST45でパワーマージン/バッファサイズ情報を送信してから ステップST44でTFCIを送信するようにしているがその逆でもよいし、同時でも良 61

[0099]

本実施の形態の通信端末装置400の特徴は、要するに、TFCポインタで示されたT FCと異なるTFCを用いて送信を行う場合には、そのTFC選択の基となったパワーマ ージン/バッファサイズ情報を送ることである。これにより、無線基地局装置300は、 TFCIで示されるTFC情報とそのTFC選択の基となったパワーマージン/バッファ サイズ情報とに基づいて、通信端末装置400のTFCポインタが誤っているか否かをチ エックできるようになる。

[0100]

図18に、本実施の形態による無線基地局装置(基地局)300と通信端末装置(移動 局)400のTFCポインタの調整の様子を示す。先ず図18のような送受信を開始する 前に、基地局は移動局にTFCポインタを示すTFC番号を通知し、両局のTPCポイン タが一致しているものとする。基地局は、時点 t 1 の前に新たなTFCポインタを決定し 、前回のTFCポインタと新たなTFCポインタとの大小関係に基づくup/down/ keep信号を時点tlに送信する。

[0101]

移動局はこのup/down/keep信号を時点t2で受信すると、up/down / k e e p 信号に基づいてTFCポインタを更新し、パワーマージン/バッファサイズ情 報に基づきこのTFCポインタ以下のTFCを決定する。そして移動局は、時点t3にお いてTFCを示すTFCIを送信する。加えて、移動局は、TFCポインタと異なるTF Cを決定した場合には(すなわちTFCポインタ未満のTFCを決定した場合には)、時 点t3とほぼ同時刻にパワーマージン/バッファサイズ情報を送信する。

[0102]

基地局は、時点t4において、TFCI情報とパワーマージン/バッファサイズ情報を 受信する。ここでTFCI情報のみ受信した場合には、TFCIと自局のTFCポインタ とを比較することで、移動局と自局のTFCポインタが一致しているかを判断する。そし て、一致していると判断した場合には、新たに決定したTFCポインタと前回までのTF Cポインタの大小関係からup/down/keep信号を生成し、時点 t 5でup/d own/keep信号を送信する。これに対して、移動局と自局のTFCポインタがずれ ていると判断した場合には、時点t5でTFCポインタ信号(TFC番号)を送信する。

[0103]

一方、基地局は時点t4でTFCI情報とパワーマージン/バッファサイズ情報の両方 を受信した場合には、パワーマージン/バッファサイズ情報を参照して、移動局のTFC が誤ったTFCポインタを基準に生成されたものかどうかチェックする。ここで移動局の TFCポインタが誤っていないと判断した場合には、時点 t 5でup/down/kee p信号を送信し、誤っていると判断した場合には u p / d o w n / k e e p信号に換えて TFCポインタ信号(TFC番号)を送信する。

[0104]

移動局は、時点t6においてup/down/keep信号又はTFCポインタ信号を 受信すると、それに基づいてTFCポインタを更新する。

[0105]

かくして本実施の形態によれば、無線基地局装置300が、通信端末装置400のTF Cポインタがずれていると判断したときのみ、自局のTFCポインタ信号を通信端末装置 400に通知するようにしたことにより、実際に必要なときだけTFCポインタ信号を通 知することができ、伝送情報量の増加を最小限に抑えながら、両局のTFCポインタを確 実に合わせることができるようになる。

[0106]

(実施の形態3)

この実施の形態の特徴は、通信端末装置が自局のTFCポインタと同じTFCを選択し たか異なるTFCを選択したかを示すフラグをTFCIと共に無線基地局装置に送信し、 無線基地局装置がこのフラグとTFCIに基づいて通信端末装置のTFCポインタが自局 のTFCポインタと一致しているのかを判断し、異なる場合にのみTFCポインタ信号を 通信端末装置に送信することである。

[0107]

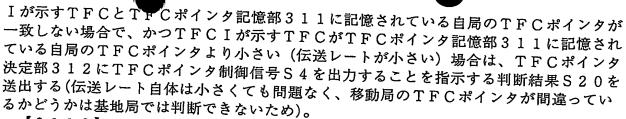
図9との対応部分に同一符号を付して示す図19に、この実施の形態の無線基地局装置 の構成を示す。無線基地局装置500は、ポインタフラグ抽出部501を有することと、 TFCポインタ制御部502の構成が異なることを除いて、図9の無線基地局装置300 と同様の構成でなる。ポインタフラグ抽出部501は、通信端末装置がTFCポインタと 同じTFCを用いたか否を示すポインタフラグ情報S40を抽出し、これをTFCポイン 夕制御部502に送出する。

[0108]

図20に、TFCポインタ制御部502の構成を示す。図10との対応部分に同一符号 を付して示す図20において、TFCポインタ制御部502のTFCIチェック部510 には、TFCI情報S2とポインタフラグ情報S40が入力される。TFCIチェック部 510は、ポインタフラグが「1」(通信端末装置でTFCポインタと同じTFCを選択 したことを示す)の場合、TFCIが示すTFCとTFCポインタ記憶部311に記憶さ れている自局のTFCポインタとを比較し、それらが一致する場合には、TFCポインタ 決定部312にTFCポインタ制御信号S4を出力することを指示する判断結果S20を 送出する。これに対して、TFCIが示すTFCとTFCポインタ記憶部311に記憶さ れている自局のTFCポインタが一致しない場合には、TFCポインタ決定部312にT FCポインタ情報S21を出力することを指示する判断結果S20を送出する。

[0109]

またTFCIチェック部510は、ポインタフラグが「-1」 (通信端末装置でTFC ポインタと異なるTFCを選択したことを示す)の場合、TFCIが示すTFCとTFC ポインタ記憶部311に記憶されている自局のTFCポインタとを比較し、それらが一致 する場合には、TFCポインタ決定部312にTFCポインタ制御信号S21を出力する ことを指示する判断結果S20を送出する。これに対して、TFCIが示すTFCとTF Cポインタ記憶部311に記憶されている自局のTFCポインタが一致しない場合で、か つTFCIが示すTFCがTFCポインタ記憶部311に記憶されている自局のTFCポ インタより大きい(伝送レートが大きい)場合は、TFCポインタ決定部312にTFC ポインタ情報S21を出力することを指示する判断結果S20を送出する。逆に、TFC



[0110]

すなわち、無線基地局装置500は、ポインタフラグが「1」でかつ自局が保持してい るTFCポインタとTFCIのTFCが一致するとき、またはポインタフラグが「-1」 でかつ自局が保持するTFCポインタよりTFCIが示すTFCが小さい(伝送レートが 小さい)ときは、up/down/keep信号を送信し、それ以外はTFCポインタ信 号(TFC番号)を送信するようになっている。

[0111]

これにより、実際上必要なときのみTFCポインタ信号を送ることができる。またTF Cポインタ信号を送るか、up/down/keep信号を送るかを、ポインタフラグで 判断するようにしたことにより、実施の形態2と比べて、TPCポインタ信号を送るか u p/down/keep信号を送るかの判断を、容易に行うことができるようになる。

[0112]

図11との対応部分に同一符号を付して示す図21に、無線基地局装置500と通信を 行う本実施の形態の通信端末装置の構成を示す。通信端末装置600はポインタフラグ生 成部601を有する。ポインタフラグ生成部601は、TFCポインタ制御部402に格 納されているTFCポインタ情報とTFC決定部403で決定されたTFCが一致する場 合にはフラグ「1」を生成すると共に、一致しない場合にはフラグ「-1」を生成する。 ポインタフラグ生成部601は生成したポインタフラグ情報S50をチャネルコーディン グ部207に送出する。これにより、通信端末装置600からポインタフラグが送信され る。

[0113]

次にこの実施の形態の無線基地局装置500及び通信端末装置600によるTFCポイ ンタの調整動作について説明する。図22に、無線基地局装置500での調整動作を示す 。無線基地局装置500は、ステップST50で調整動作を開始すると、ステップST5 1でTFCIチェック部510(図20)において、通信端末装置(移動局)600から 送られてきたポインタフラグとTFCIに基づいて、移動局のTFCポインタが誤ってい るか否かをチェックする。この実施の形態の場合には、上述したように、ポインタフラグ が「1」でかつ自局が保持しているTFCポインタとTFCIのTFCが一致するとき、 またはポインタフラグが「ー1」でかつ自局が保持するTFCポインタよりTFCIが示 すTFCが小さい(伝送レートが小さい)ときのみ誤っていないと判断し、それ以外は誤っ ていると判断する。

[0114]

無線基地局装置500は、ステップST51で移動局のTFCポインタが誤っていない と判断すると、ステップST52に移り、TFCポインタ決定部312において、自局で 保持している前回のTFCポインタから新たなTFCポインタを決定する。そして続くス テップST53において、TFCポインタ決定部312において、新たなTFCポインタ が前回のTFCポインタに対して大きいか小さいかを比較し、この比較結果に基づくup / d o w n / k e e p 信号を生成して、 u p / d o w n / k e e p 信号を送信する。

[0115]

これに対して、ステップST51で移動局のTFCポインタが誤っていると判断すると 、ステップST54に移り、TFCポインタ決定部312において、自局で保持している 前回のTFCポインタから新たなTFCポインタを決定する。そして続くステップST5 5においてTFCポインタ信号を送信する。無線基地局装置500は、ステップST53 又はステップST55の後、ステップST56でTFC調整動作を終了する。

[0116]

図23に、通信端末装置600でのポインタフラグ作成動作を示す。通信端末装置60 0は、ステップST60でポインタフラグ作成動作を開始すると、続くステップST61 でTFCポインタ制御部402が無線基地局装置500から送られてきたup/down /keep信号に従ってTFCポインタを更新し、ステップST62に進む。ステップS T62では、TFCポインタ以下のTFCを決定し、ステップST63に進む。

[0117]

ステップST63では、TFCポインタで示されたTFCと同じTFCが決定されたか 否か判断する。そしてTFCポインタと同じTFCである場合には、ステップST64に 移ってポインタフラグを「1」とし、TFCポインタと異なるTFCである場合には、ス テップST65に移ってポインタフラグを「-1」とする。通信端末装置600は、ステ ップST63又はステップST64でポインタフラグを生成した後、ステップST66で TFCIとポインタフラグを送信し、ステップST67でポインタフラグ作成動作を終了 する。

[0118]

図24に、本実施の形態による無線基地局装置(基地局)500と通信端末装置(移動 局)600のTFCポインタの調整の様子を示す。先ず図24のような送受信を開始する 前に、基地局は移動局にTFCポインタを示すTFC番号を通知し、両局のTPCポイン タが一致しているものとする。基地局は、時点 t 1 の前に新たなTFCポインタを決定し 、前回のTFCポインタと新たなTFCポインタとの大小関係に基づくup/down/ k e e p信号を時点 t 1 に送信する。

[0119]

移動局はこのup/down/keep信号を時点t2で受信すると、up/down / k e e p 信号に基づいてTFCポインタを更新し、パワーマージン/バッファサイズ情 報に基づきこのTFCポインタ以下のTFCを決定する。そして移動局は、時点t3にお いて、TFCIと共にポインタフラグを送信する。

[0120]

基地局は、時点t4において、TFCI情報とポインタフラグを受信する。続いて基地 局はTFCポインタを決定する。また基地局はポインタフラグとTFCIに基づいて移動 局のTFCポインタが自局のTFCポインタと一致するか否か判断する。そして一致する と判断した場合には時点 t 5 で u p / d o w n / k e e p 信号を送信し、一致しないと判 断した場合には時点t5でTFCポインタ情報を送信する。

[0121]

移動局は、時点t6でup/down/keep信号又はTFCポインタ情報を受信す ると、その信号に基づいて自局のTFCポインタを更新する。

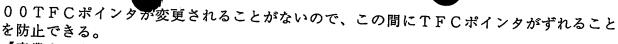
[0122]

かくして本実施の形態によれば、通信端末装置600が自局のTFCポインタと同じT FCを選択したか異なるTFCを選択したかを示すフラグをTFCIと共に基地局に送信 し、無線基地局装置500がこのフラグとTFCIに基づいて通信端末装置600のTF Cポインタが自局のTFCポインタと一致しているのかを判断し、異なる場合にのみTF Cポインタ信号(TFC番号)を通信端末装置600に送信するようにしたことにより、 伝送情報量の増加を最小限に抑えながら、容易かつ確実に無線基地局装置500と通信端 末装置600のTFCポインタを一致させることができる。

[0123]

(他の実施の形態)

なお上述した実施の形態に加えて、無線基地局装置100、300、500がTFCI を受信してからこのTFCIを基準とした次のup/down/keep信号を送信する までの間、通信端末装置200、400、600に対してkeep信号を送信してもよい 。このようにすれば、無線基地局装置100、300、500と通信端末装置200、4 00、600とでTFCポインタの調整をしている間に通信端末装置200、400、6



【産業上の利用可能性】

[0124]

本発明は、無線基地局と通信端末のTFCポインタを一致させることが要求される無線通信システムに適用し得る。

【図面の簡単な説明】

[0125]

- 【図1】本発明の実施の形態1に係る無線基地局装置の構成を示すブロック図
- 【図2】TFCポインタ制御部の構成を示すブロック図
- 【図3】 実施の形態1の通信端末装置の構成を示すブロック図
- 【図4】TFCポインタ制御部の構成を示すプロック図
- 【図 5 】実施の形態 1 の無線基地局装置によるTFCポインタ調整動作を示すフローチャート
- 【図 6 】実施の形態 1 の通信端末装置によるTFCポインタ調整動作を示すフローチャート
- 【図7】実施の形態1の無線基地局装置と通信端末装置のTFCポインタ調整動作を 示すシーケンス図
- 【図8】従来の無線基地局装置と通信端末装置のTFCポインタ調整動作を示すシーケンス図
- 【図9】実施の形態2の無線基地局装置の構成を示すブロック図
- 【図10】TFCポインタ制御部の構成を示すブロック図
- 【図11】実施の形態2の通信端末装置の構成を示すブロック図
- 【図12】TFCポインタ制御部の構成を示すプロック図
- 【図13】TFC決定部の構成を示すブロック図
- 【図14】TFCIチェック部における具体的なチェック方法の説明に供する図
- 【図15】TFCIチェック部における具体的なチェック方法の説明に供する図
- 【図16】実施の形態2の無線基地局装置によるTFCポインタ調整動作を示すフローチャート
- 【図17】実施の形態2の通信端末装置によるTFCI及びパワーマージン/バッファサイズ情報の送信処理を示すフローチャート
- 【図18】実施の形態2の無線基地局装置と通信端末装置のTFCポインタ調整動作を示すシーケンス図
- 【図19】実施の形態3の無線基地局装置の構成を示すブロック図
- 【図20】TFCポインタ制御部の構成を示すブロック図
- 【図21】実施の形態3の通信端末装置の構成を示すプロック図
- 【図22】実施の形態3の無線基地局装置によるTFCポインタ調整動作を示すフローチャート
- 【図23】実施の形態3の通信端末装置によるTFCポインタフラグ作成動作を示す フローチャート
- 【図24】実施の形態3の無線基地局装置と通信端末装置のTFCポインタ調整動作を示すシーケンス図
- 【図25】TFC Selectionの説明に供する図
- 【図26】TFCSとTFCポインタの説明に供する図

【符号の説明】

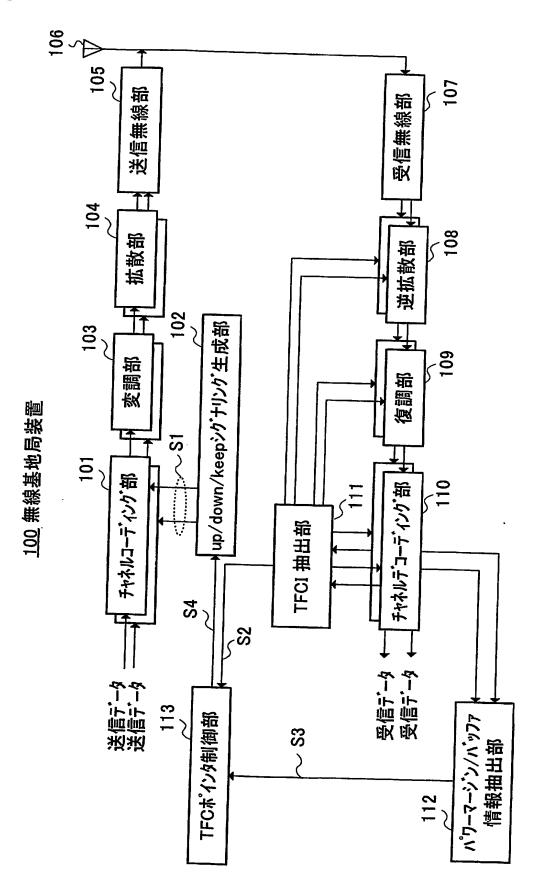
[0126]

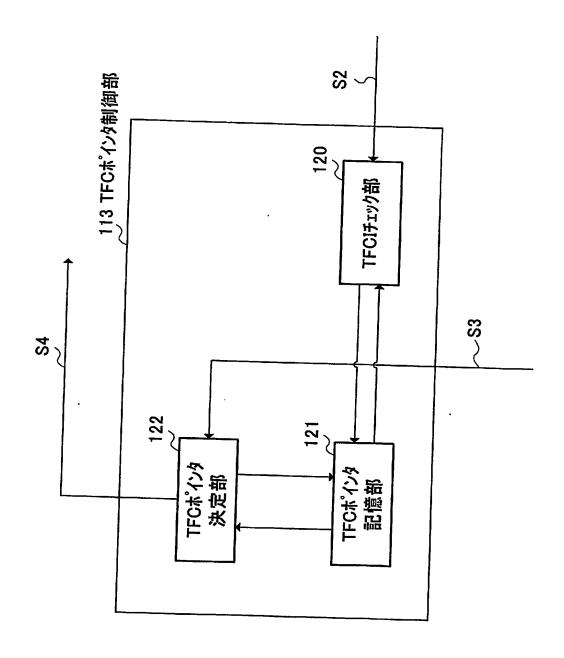
- 100、300、500 無線基地局装置
- 102 up/down/keepシグナリング生成部
- 111 TFCI抽出部
- 112 パワーマージン/バッファ情報抽出部

ページ: 20/E

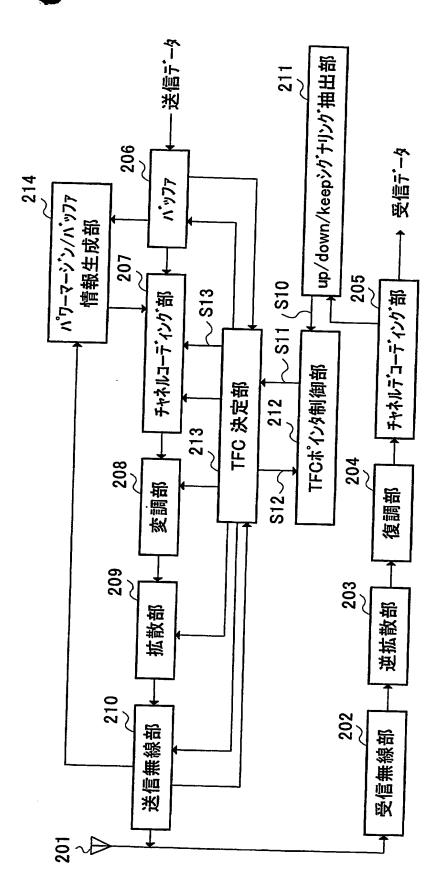
- 113 TFCポインタ制御部
- 120、310、510 TFCIチェック部
- 121、221、311、411 TFCポインタ記憶部
- 122、312 TFCポインタ決定部
- 200、400、600 通信端末装置
- 2 1 1 up/down/keepシグナリング抽出部
- 212、302、402、502 TFCポインタ制御部
- 213、403 TFC決定部
- 220、410 TFCポインタ更新部
- 301 TFCポインタ信号生成部
- 401 TFCポインタ抽出部
- 4 2 0 TFC選択部
- 4 2 1 TFC比較部
- 501 ポインタフラグ抽出部
- 601 ポインタフラグ生成部
- S1、S10 up/down/keep信号
- S2 TFCI情報
- S3 パワーマージン/バッファ情報
- S4 TFCポインタ制御信号
- S 1 1、S 2 1、S 3 0 TFCポインタ情報
- S12 TFC情報
- S13 TFCI情報
- S20 判断結果
- S22 TFCポインタ信号
- S40、S50 ポインタフラグ情報

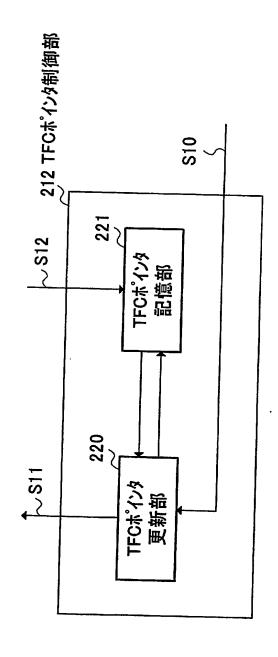
【書類名】図面 【図1】

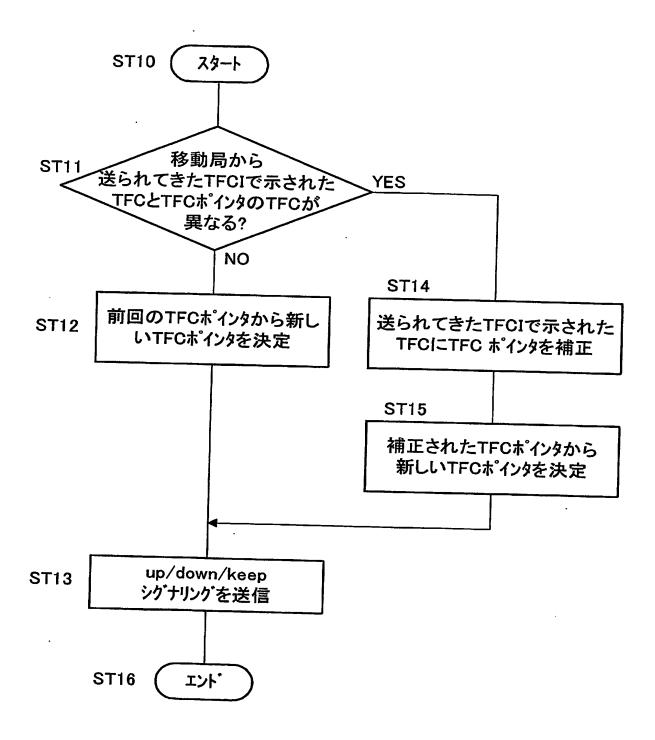


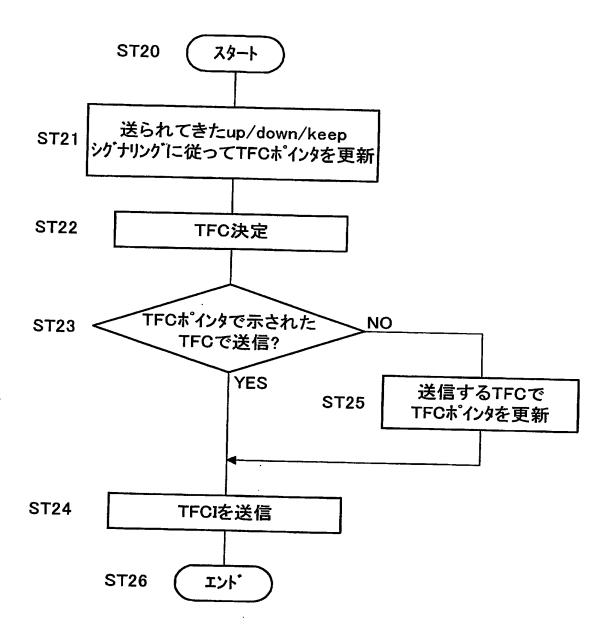


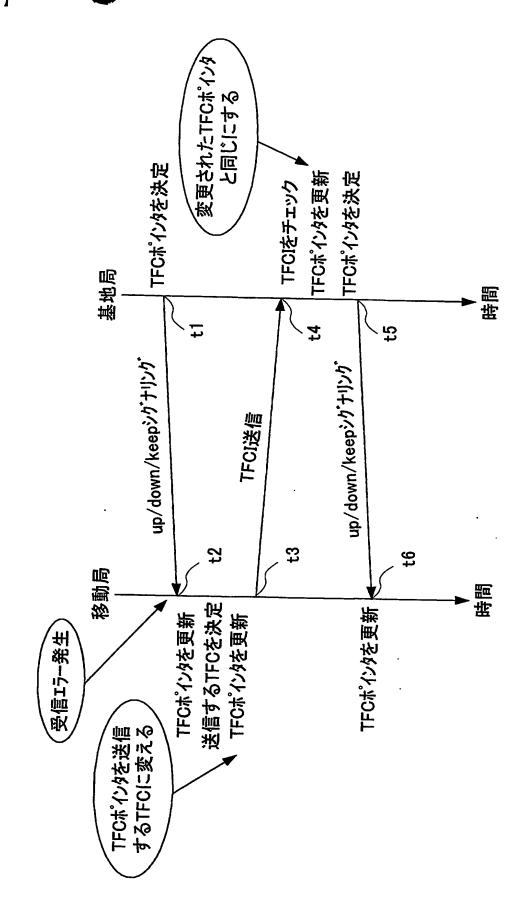
200 通信端末装置

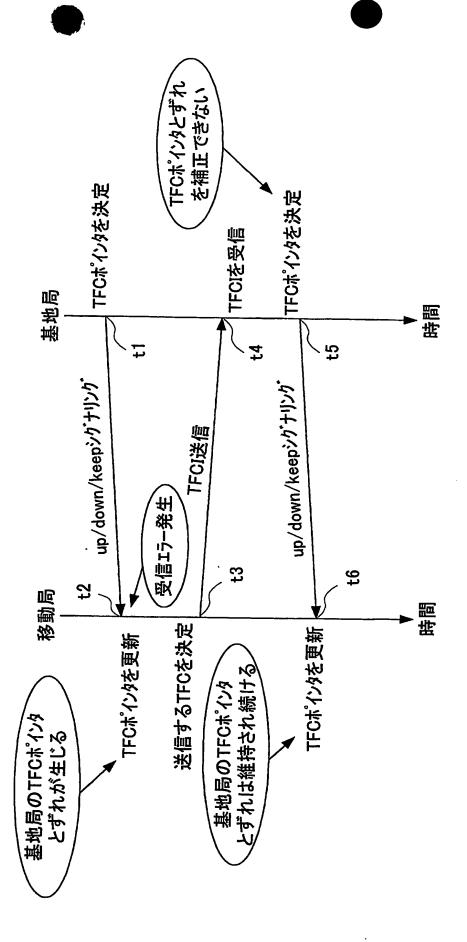


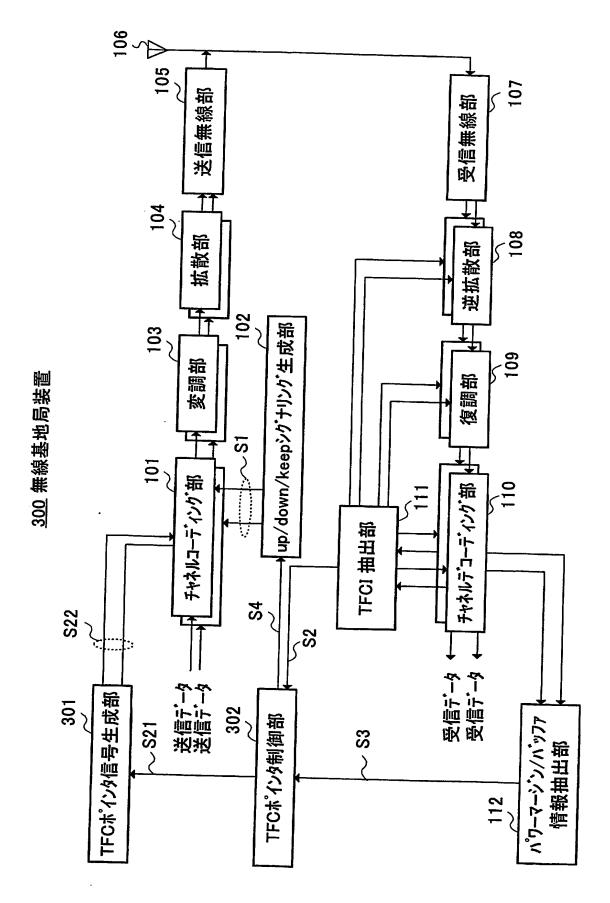




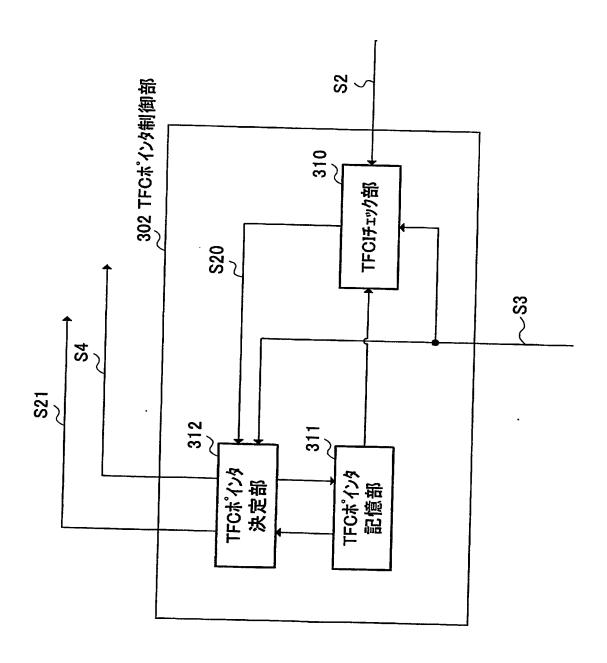








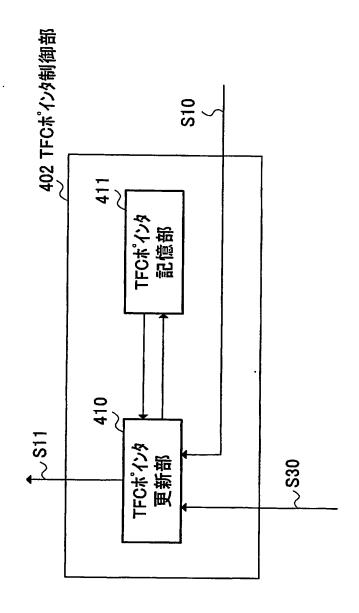
出証特2004-3084220

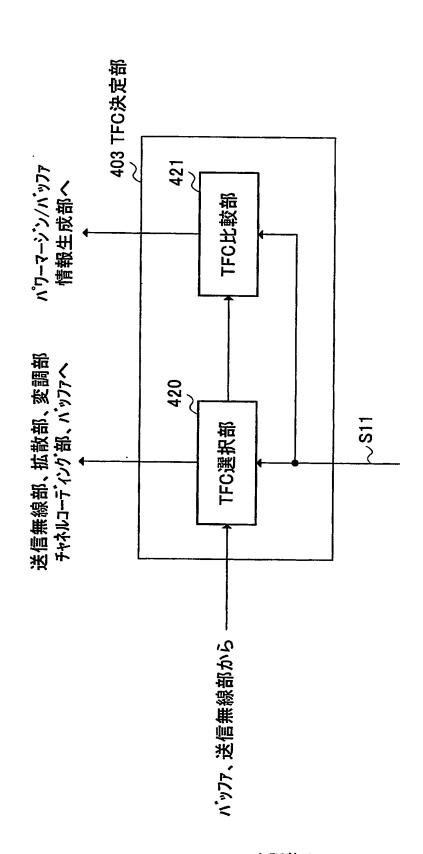


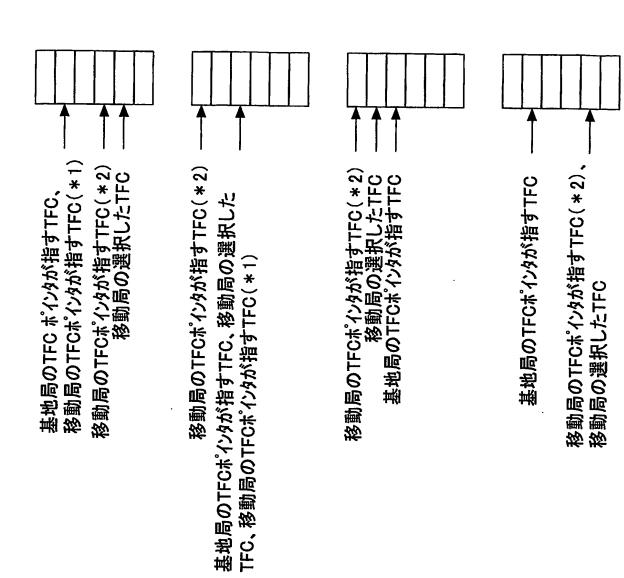


np/down/keepシグナリング抽出部 211 **2**06 受信データ N"777 パワーマージン/バッファ 情報生成部 **S13 S10** チャネルコーディング・部 チャネルデューディング部 $\frac{207}{\sim}$ TFCポインタ制御部 TFCポインタ抽出部 \sim S30 **S11** TFC 沃定部 400 通信端末装置 403 401 204 402 変調部 復調部 209 203 拡散部 逆拡散部 202 送信無線部 受信無線部

出証特2004-3084220







(C) 7-73

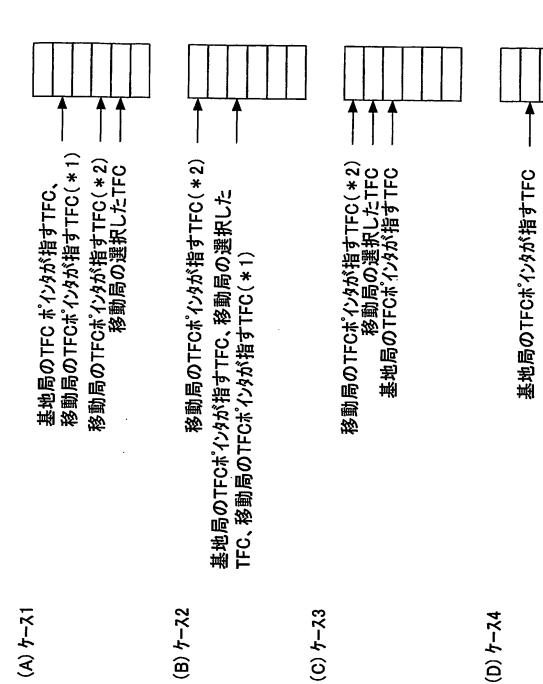
(B) 7-72

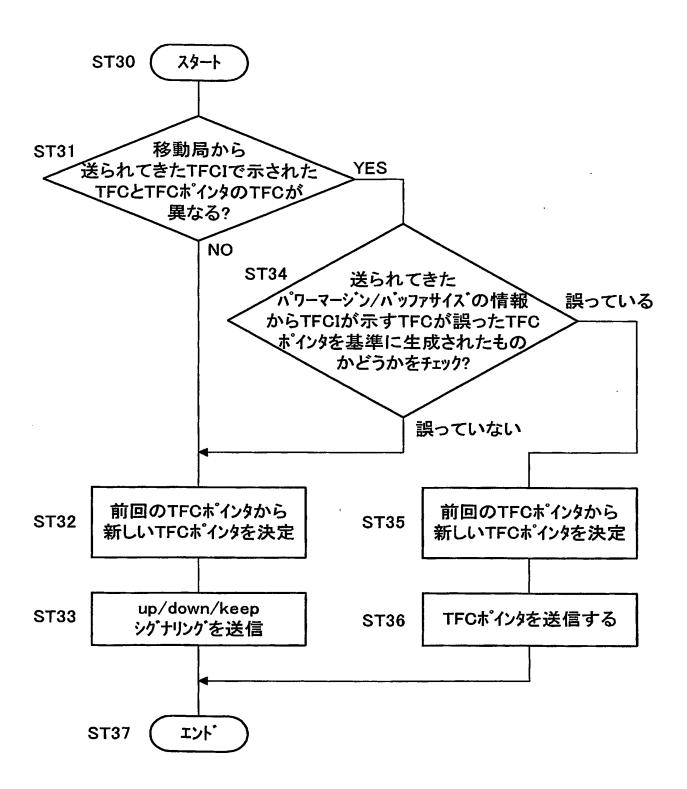
(A) 7-71

(D) 7-74

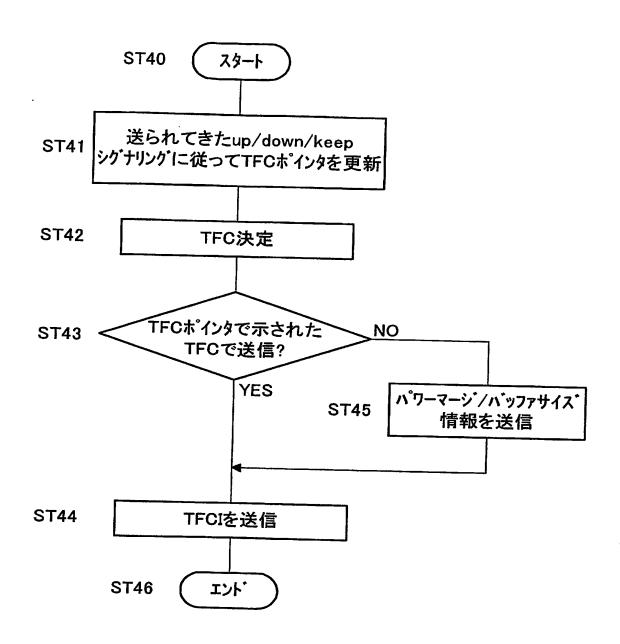
移動局のTFCポインタが指すTFC(*2)、

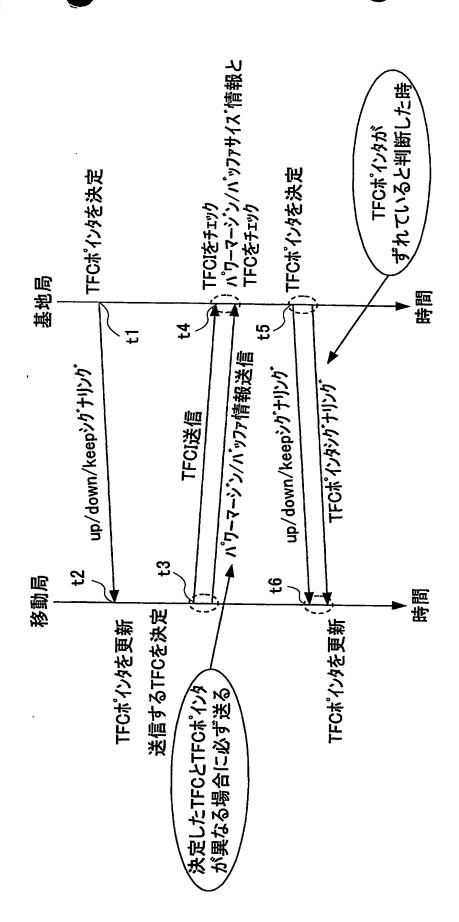
移動局の選択したTFC





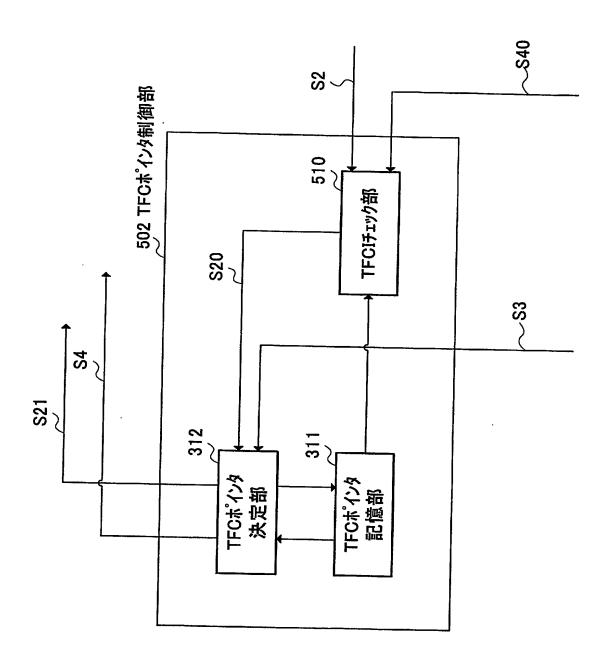
【図17】





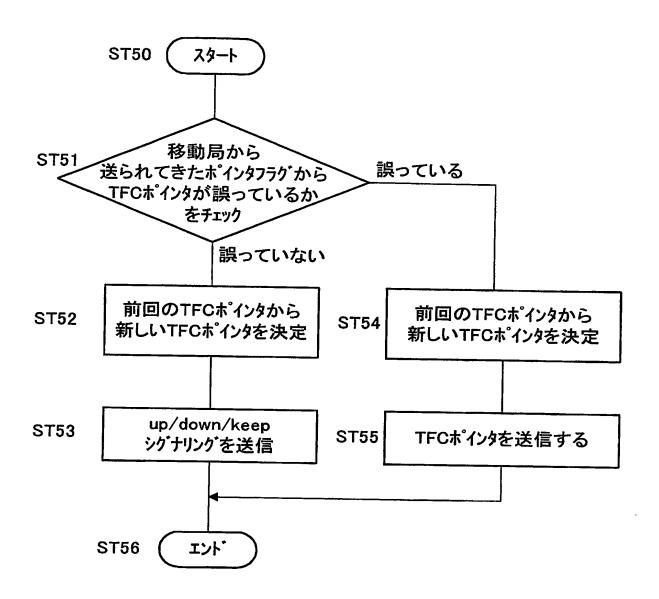
【図19】

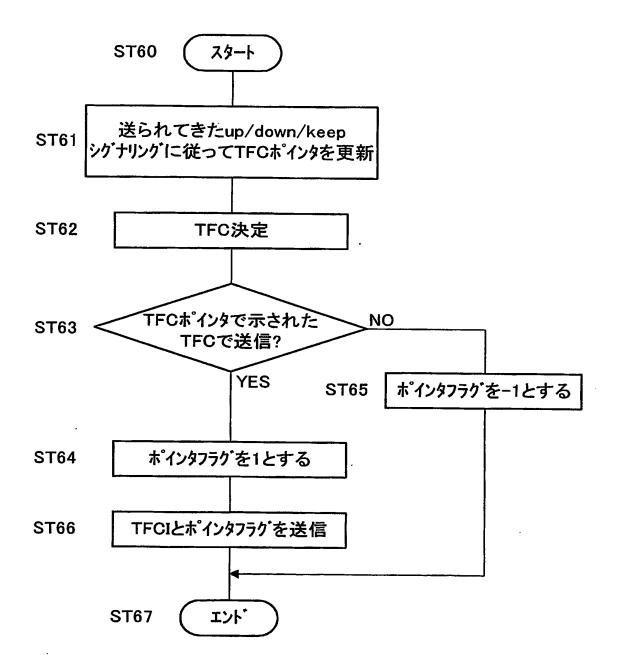
105 107 受信無線部 送信無線部 104 108 拡散部 逆拡散部 102 up/down/keepシグナリング生成部 103 109 **変調**部 復調部 500 無線基地局装置 $\langle S1 \rangle$ 트신 チャネルコーディング・部 チャネルデューディング・部 TFCI 抽出部 **S4 S22 501 S**5 ポインタフラグ 受信データ 受信データ 抽缸的 送信-j.--/ 送信-j.--/ **S40** TFCポインタ信号生成部 301 **502** パワーマージン/バッファ TFCポインタ制御部 **S21** 情報抽出部 112 S3



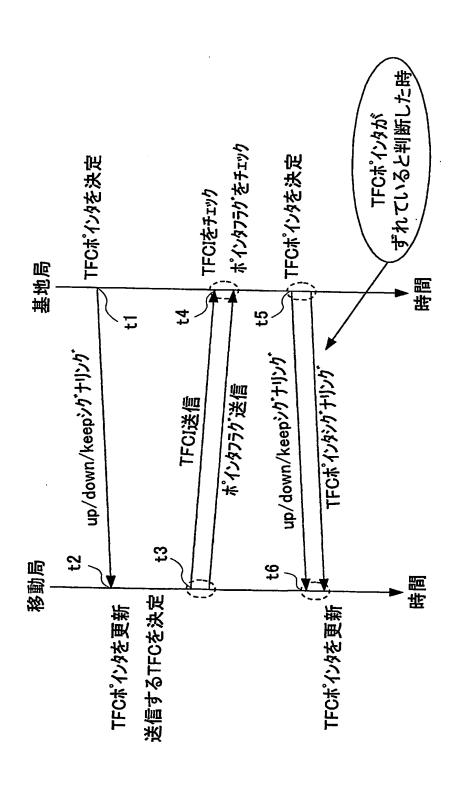


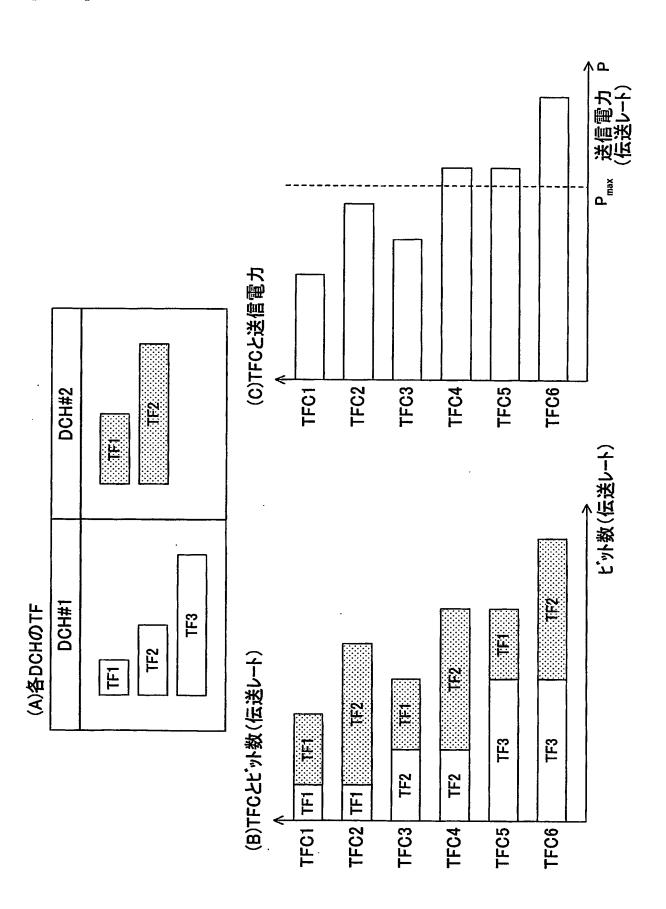
601 ポインタフラグ生成部 送信データ up/down/keepシグナリング抽出部 7211 **2**06 17.77 214 パワーマージン/バッファ 情報生成部 205 チャネルデューディング部 チャネルコーディング・部 S13 S50~ **S10** $\frac{207}{\sim}$ TFCホインタ制御部 TFCポインタ抽出部 **S30 S11** TFC 決定部 600 通信端末装置 403 401 204 402 **208 変調**部 復調部 **2**09 拡散部 逆拡散部 210 ~ 202 送信無線部 受信無線部







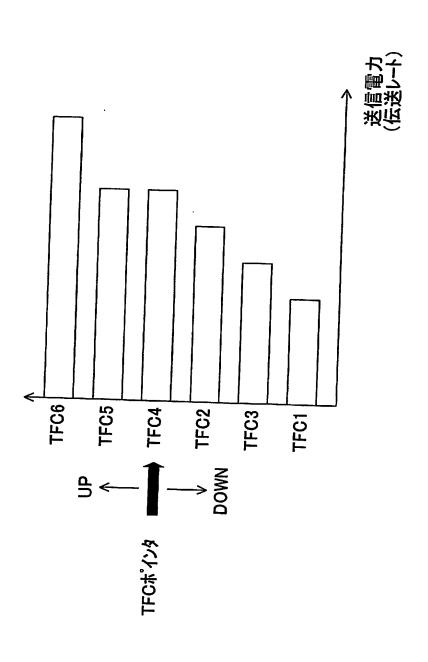




出証特2004-3084220



【図26】







【書類名】要約書 【要約】



【課題】 通信端末装置のTFCポインタを無線基地局装置のTFCポインタに一致させること。

【解決手段】 移動局は、決定したTFCに合わせてTFCポインタを変更すると共に時点 t 3でTFC I を送信する。基地局は、TFC I をチェックし、TFC I で示されるTFCに自局のTFCポインタを合わせるように更新する。基地局は、次に新たなTFCポインタを決定し、新たなTFCポインタと、更新したTFCポインタとを比較することにより、up/down/keep信号を生成し、これを時点 t 5に送信する。移動局は、時点 t 6で受信したup/down/keep信号に基づいて、保持していたTFCポインタを更新する。この結果、移動局が時点 t 2でup/down/keep信号を誤って受信しても、両局のTFCポインタを一致させることができる。

【選択図】 図7





特願2003-299122

出願人履歴情報

識別番号

[000005821]

1. 変更年月日 [変更理由] 住 所 氏 名

1990年 8月28日 新規登録 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社